

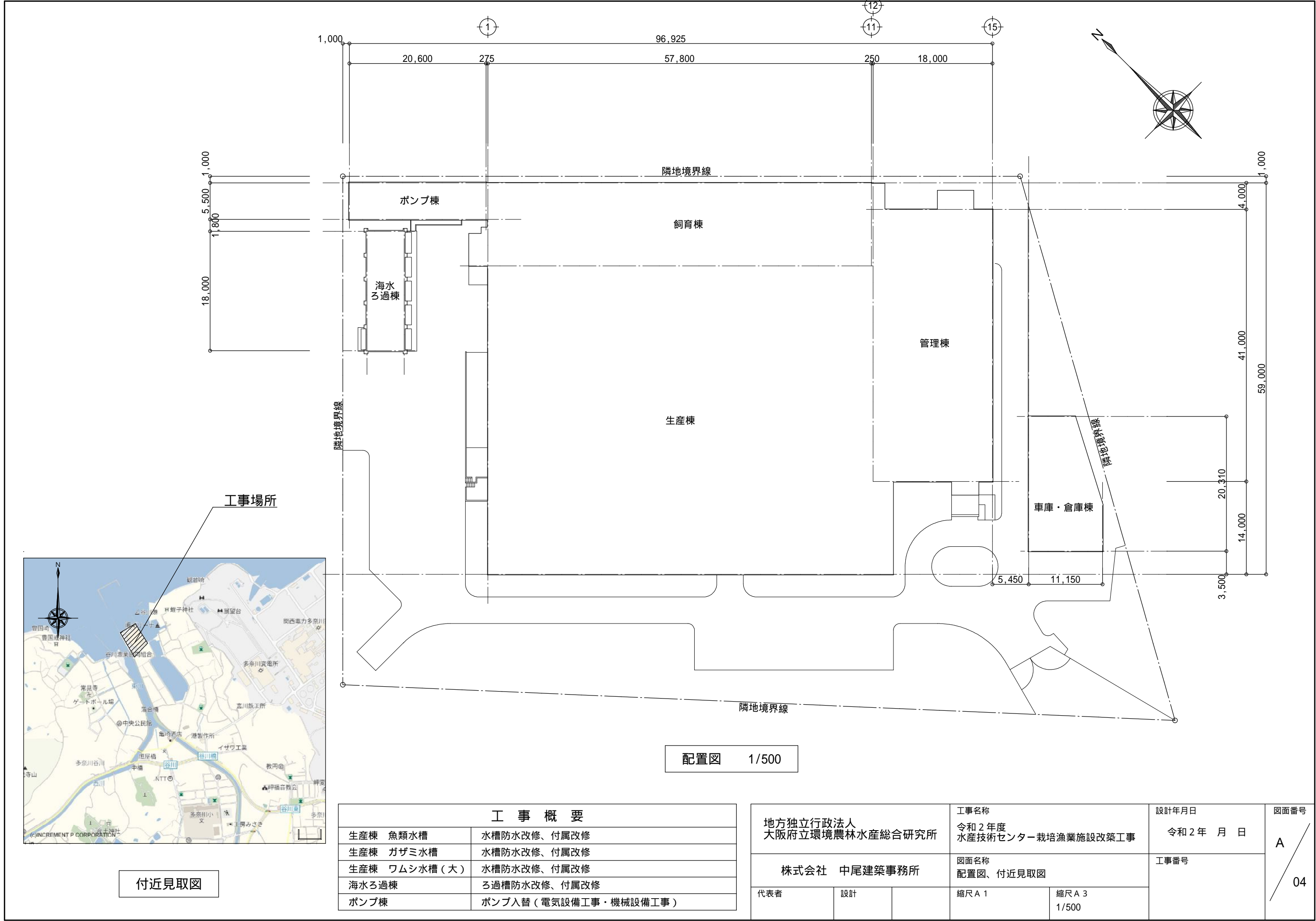
# 令和 2 年度水産技術センター栽培漁業施設改築工事

建 築		電 気		機 械	
番号	名称	番号	名称	番号	名称
A-01	表紙・図面リスト	E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	機械設備工事特記仕様書
-02	特記仕様書 1	-02	インバーター盤 結線図・姿図	-02	魚類水槽 現況・撤去、改修配管図
-03	特記仕様書 2	-03	ポンプ棟電気設備図	-03	ガザミ水槽 現況・撤去配管図
-04	配置図、付近見取図			-04	ガザミ水槽 改修配管図
-05	1 階平面図			-05	ワムシ水槽（大） 現況・撤去・改修配管図
-06	魚類水槽現況平面図、断面図			-06	ろ過棟 現況・撤去、改修配管図 1
-07	魚類水槽改修平面図、断面図			-07	ろ過棟 現況・撤去、改修配管図 2
-08	ガザミ水槽現況平面図、断面図			-08	ろ過棟 現況・撤去配管詳細図
-09	ガザミ水槽改修平面図、断面図			-09	ろ過棟 改修配管詳細図
-10	ワムシ水槽（大）現況平面図、断面図			-10	ろ過棟 エアーチューブ改修図
-11	ワムシ水槽（大）改修平面図、断面図			-11	ポンプ棟 配管分岐詳細図
-12	ろ過棟現況・改修平面図、断面図			-12	ポンプ棟 原水取水ポンプ入替え詳細図

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和 2 年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和 2 年 月 日	図面番号 A 01
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 表紙・図面リスト		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3		

[illegible]

[illegible]

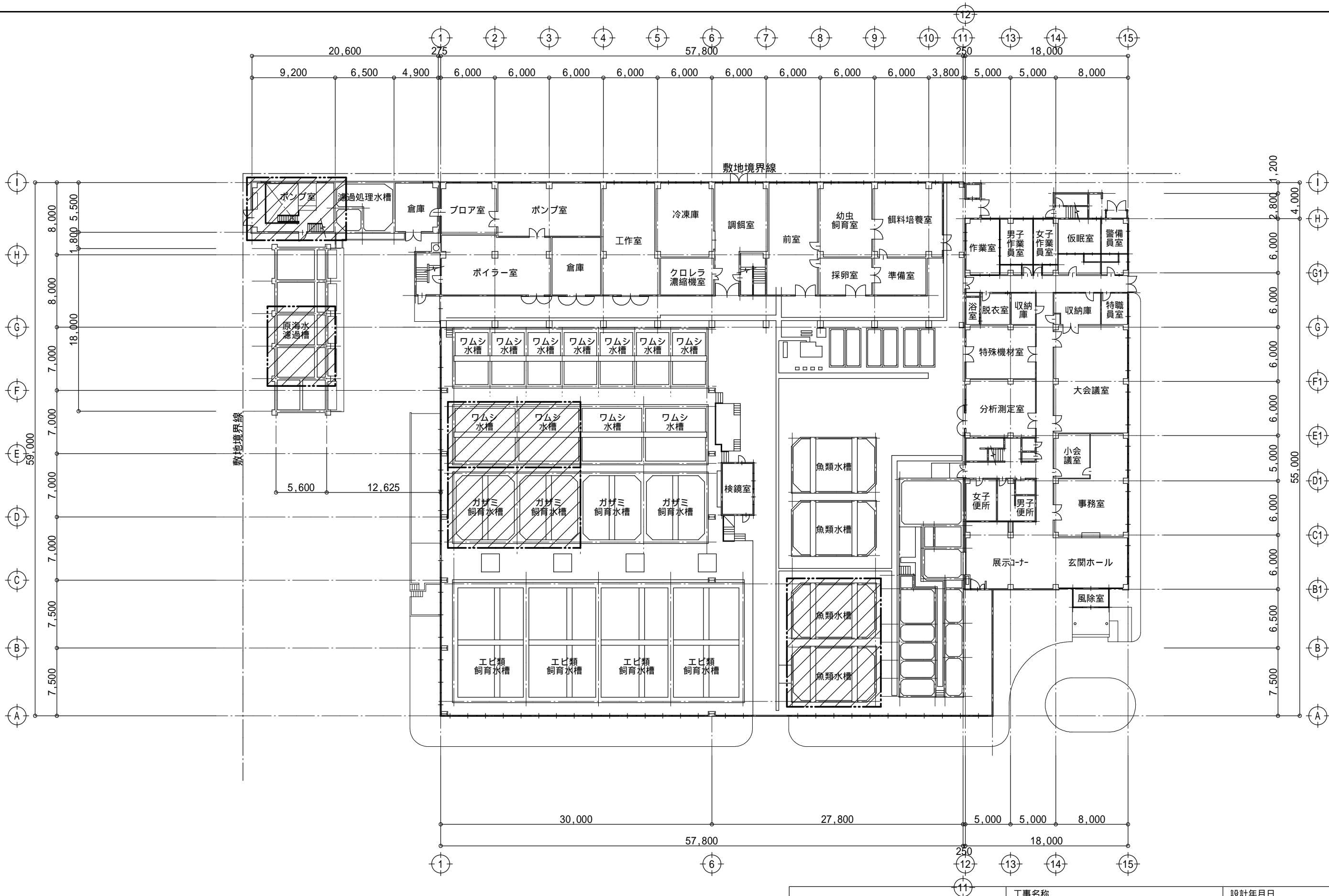


付近見取図

配置図 1/500

工 事 概 要		
生産棟	魚類水槽	水槽防水改修、付属改修
生産棟	ガザミ水槽	水槽防水改修、付属改修
生産棟	ワムシ水槽（大）	水槽防水改修、付属改修
海水ろ過棟		ろ過槽防水改修、付属改修
ポンプ棟		ポンプ入替（電気設備工事・機械設備工事）

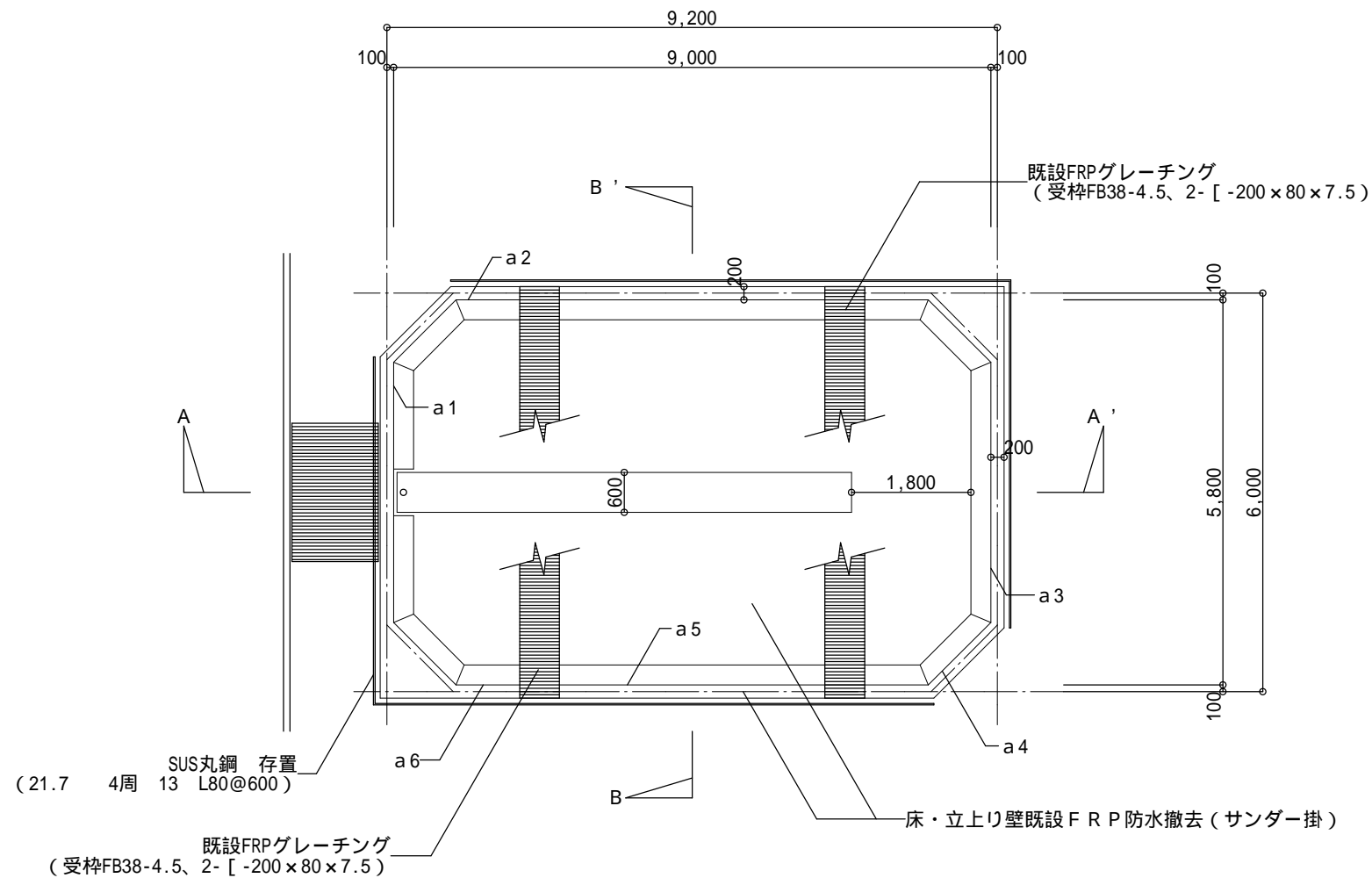
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 A 04
		株式会社 中尾建築事務所		工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/500		



1 階平面図 1/400

凡例  
[Hatched Box] は今回改修範囲を示す

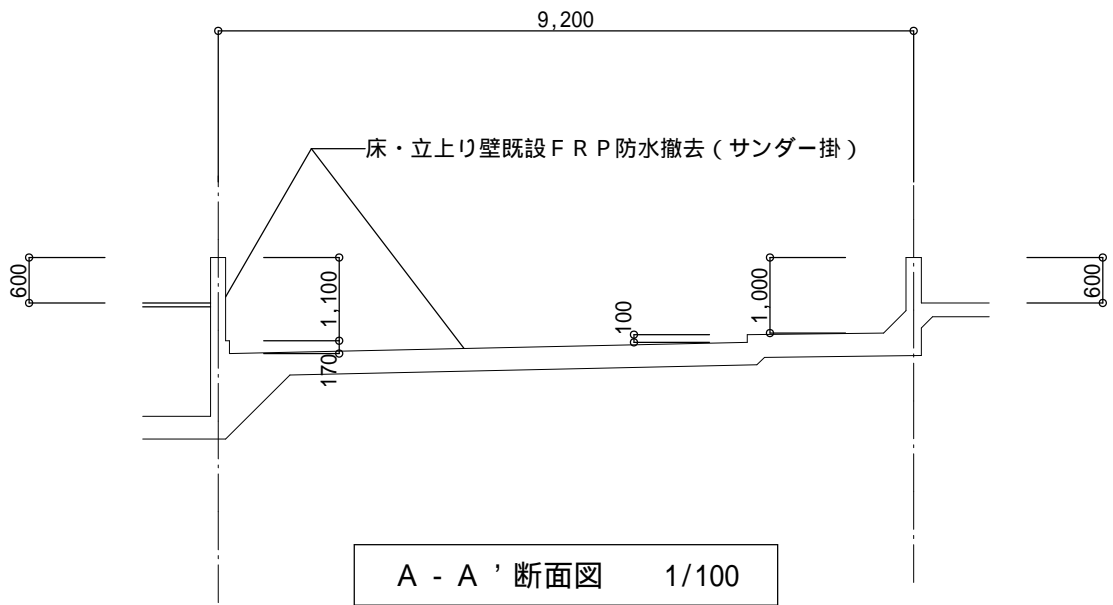
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和 2 年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事	設計年月日 令和 2 年 月 日	図面番号 A 05
株式会社 中尾建築事務所		図面名称 1 階平面図	工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1 1/400	縮尺 A 3 1/400	



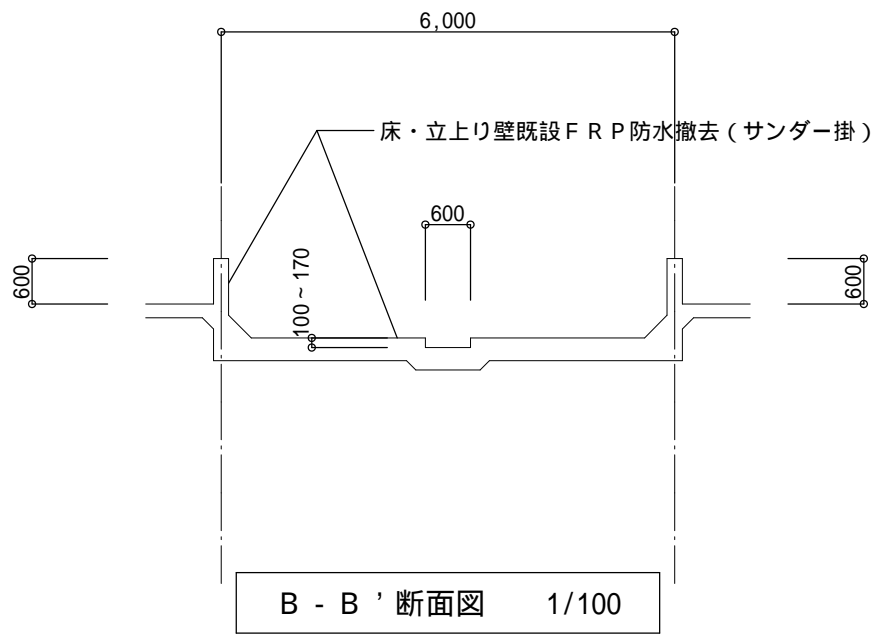
現況平面図 1/100

補修数量表 (参考数量)				
ひび割れ：Vカット樹脂モルタル充填				
記号	幅 (mm)	長さ (m)	割増係数	数量 (m)
a1	1.0	1.10	1.50	1.65
a2	1.0	0.80	1.50	1.20
a3	1.0	2.10	1.50	3.15
a4	1.0	2.00	1.50	3.00
a5	1.0	3.30	1.50	4.95
a6	1.0	0.95	1.50	1.43
合 計				15.38 (30.76)

( ) は今回改修水槽 (2槽) の参考数量を示す。  
既設防水層撤去後、再調査、報告の事

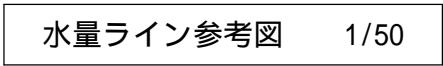
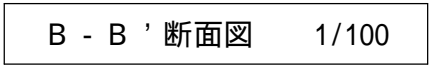
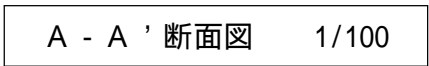
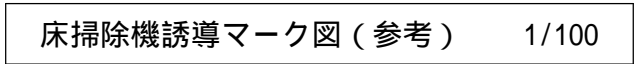
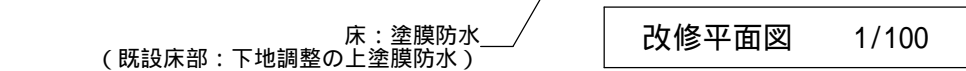


A - A' 断面図 1/100

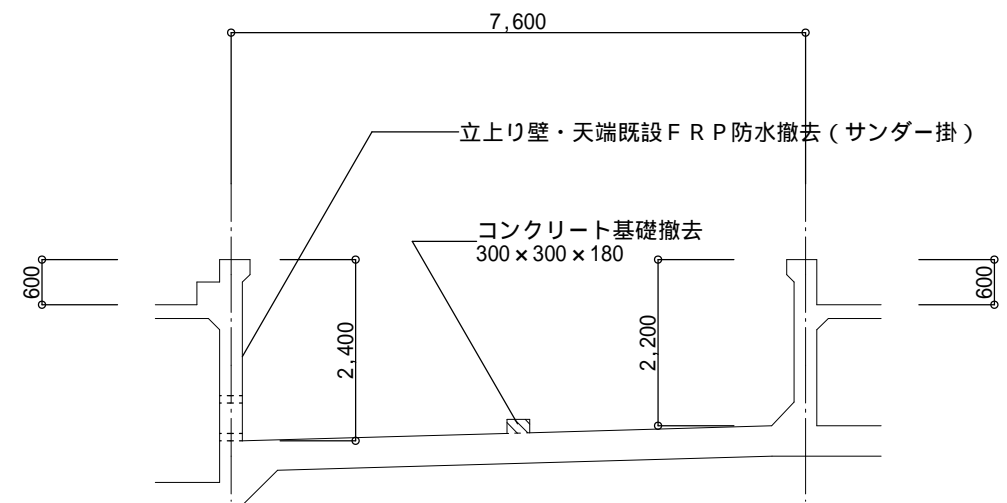
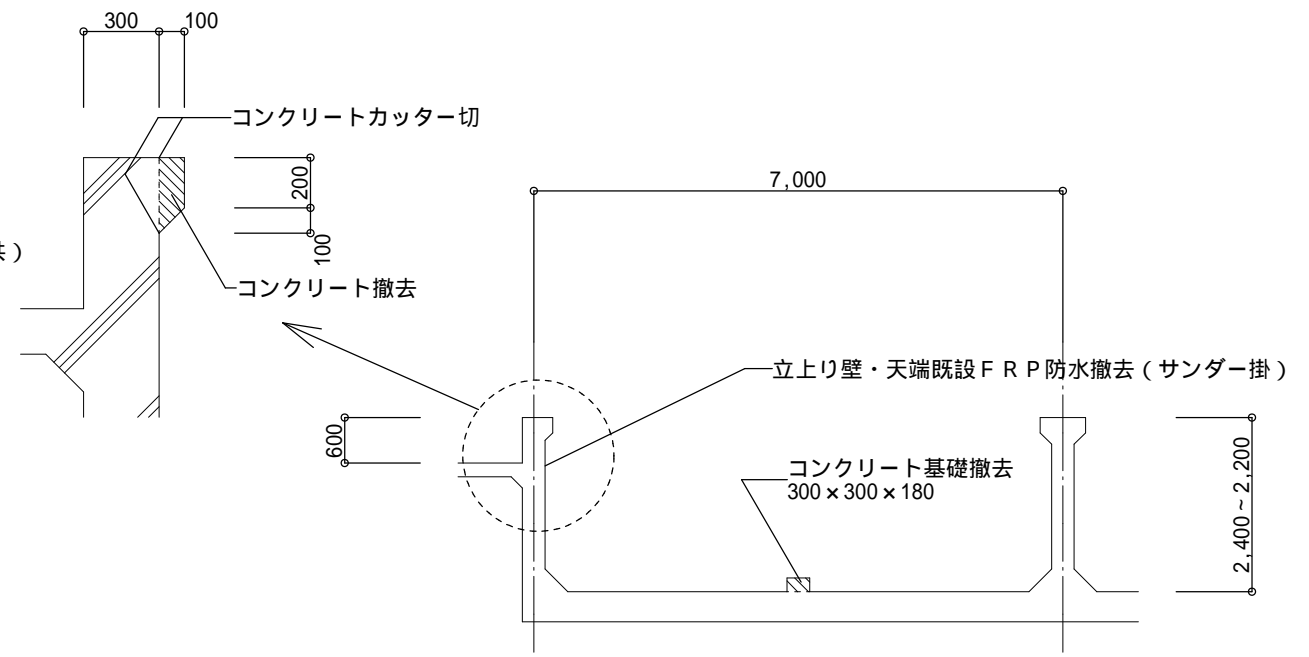
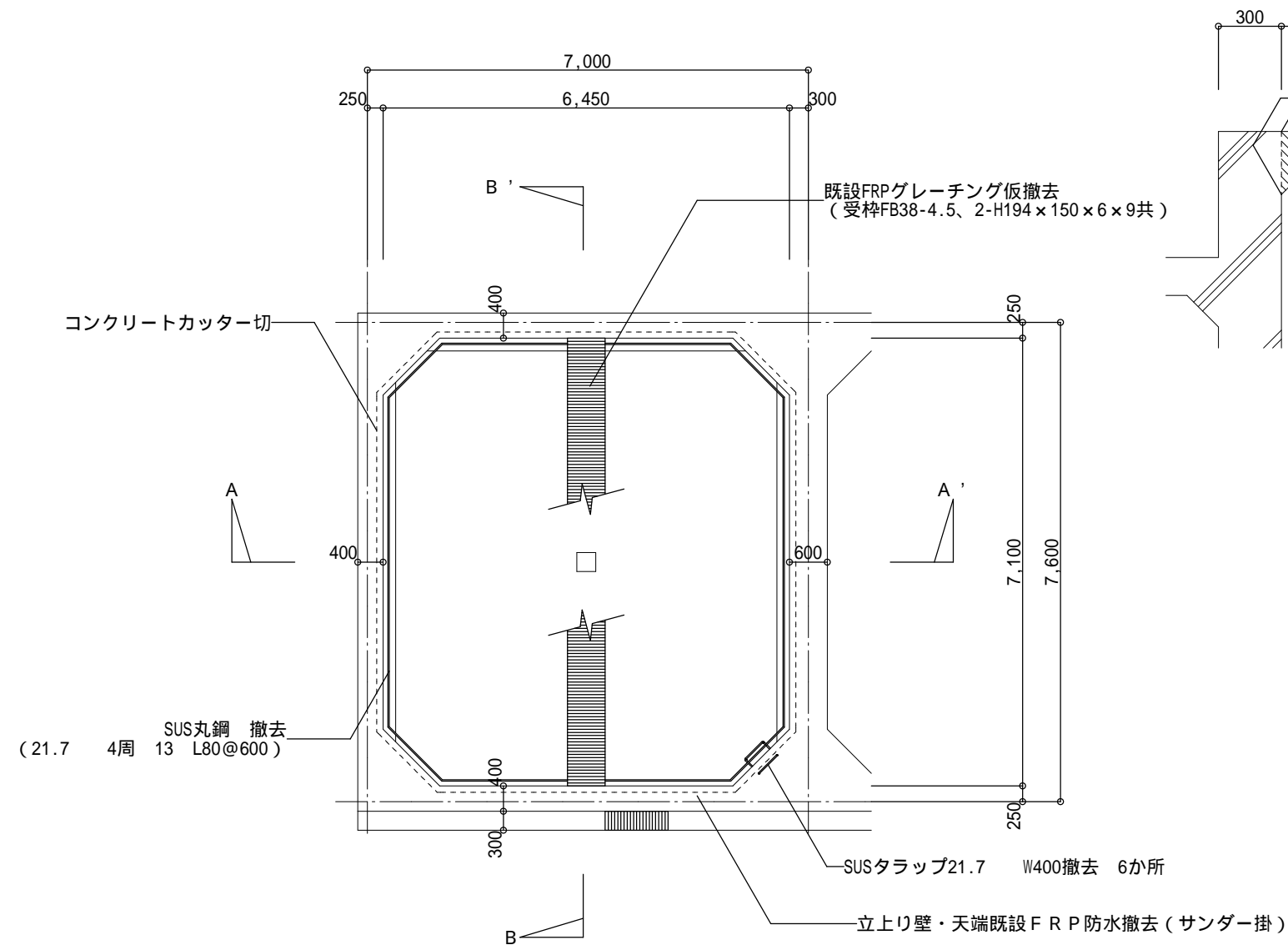


B - B' 断面図 1/100

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 A 06
株式会社 中尾建築事務所		図面名称 魚類水槽現況平面図、断面図		工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1 / 100		

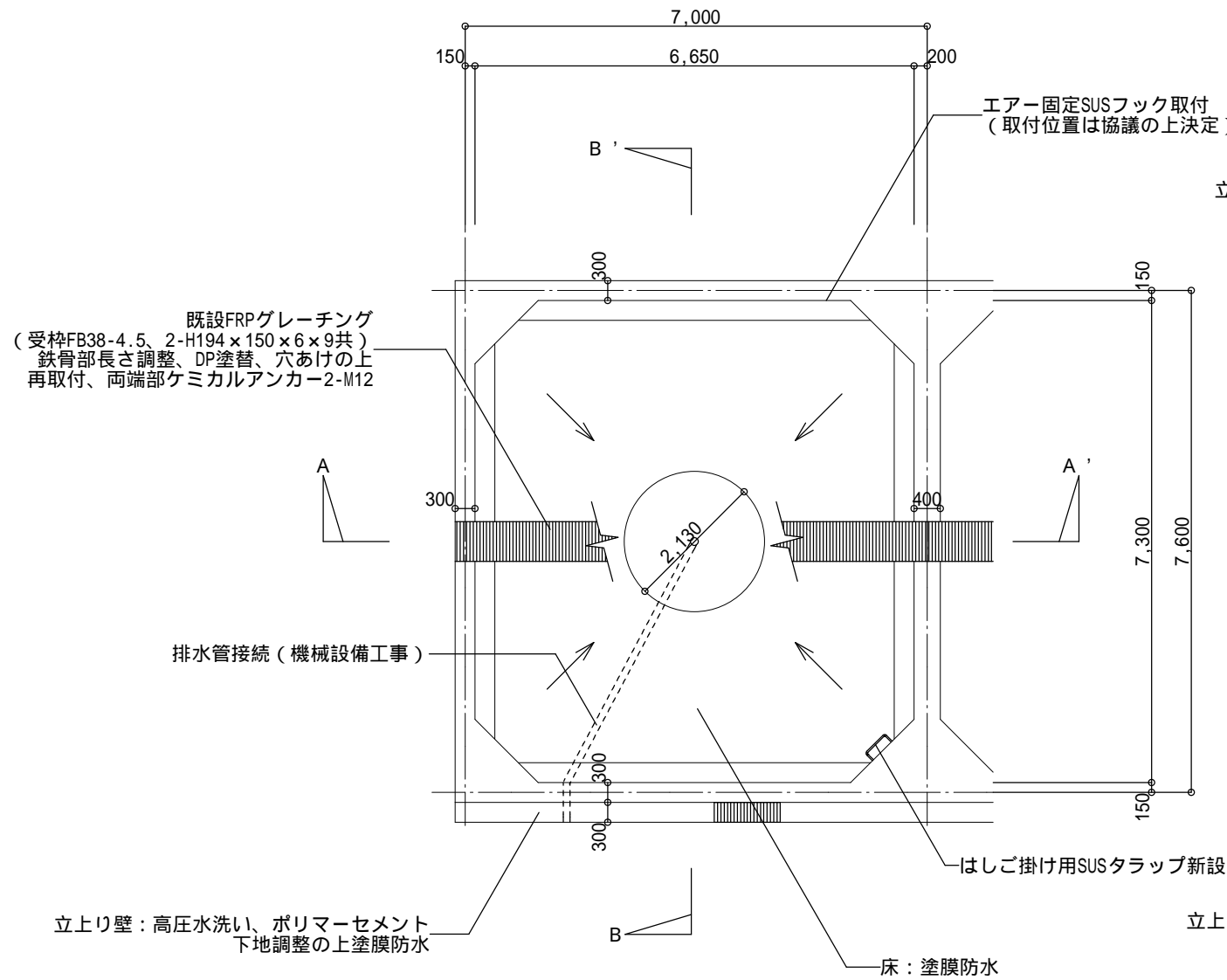


地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和 2 年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日  令和 2 年    月    日	図面番号  <div style="text-align: center; font-size: 2em;">A</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em;">07</div>
株式会社    中尾建築事務所			図面名称 魚類水槽改修平面図、断面図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1 / 100		

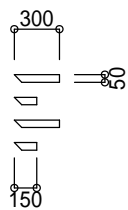


地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 A 08
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ガザミ水槽現況平面図、断面図		工事番号	
代表者	設計		縮尺A 1	縮尺A 3 1/100		





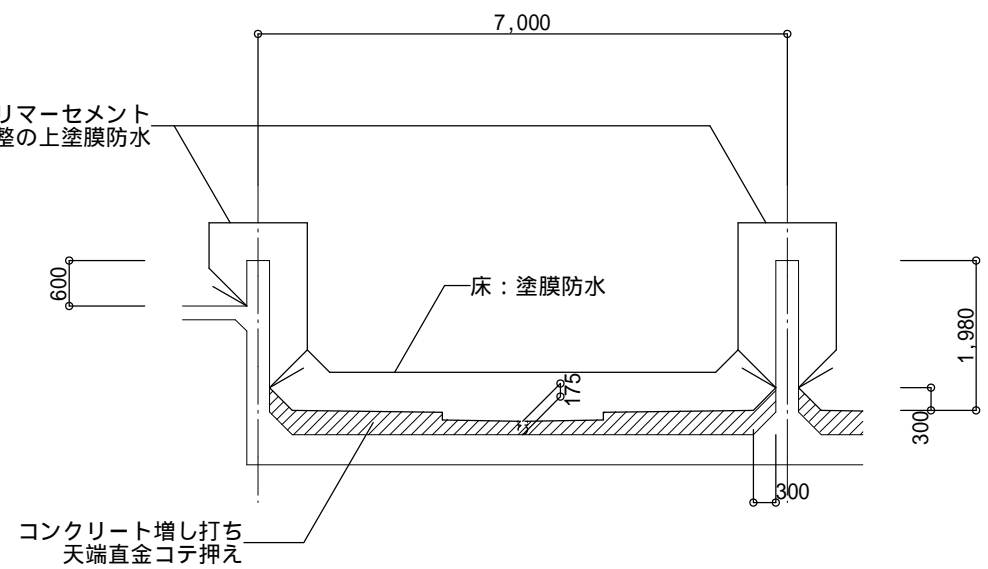
改修平面図 1/100



水量ライン参考図 1/50

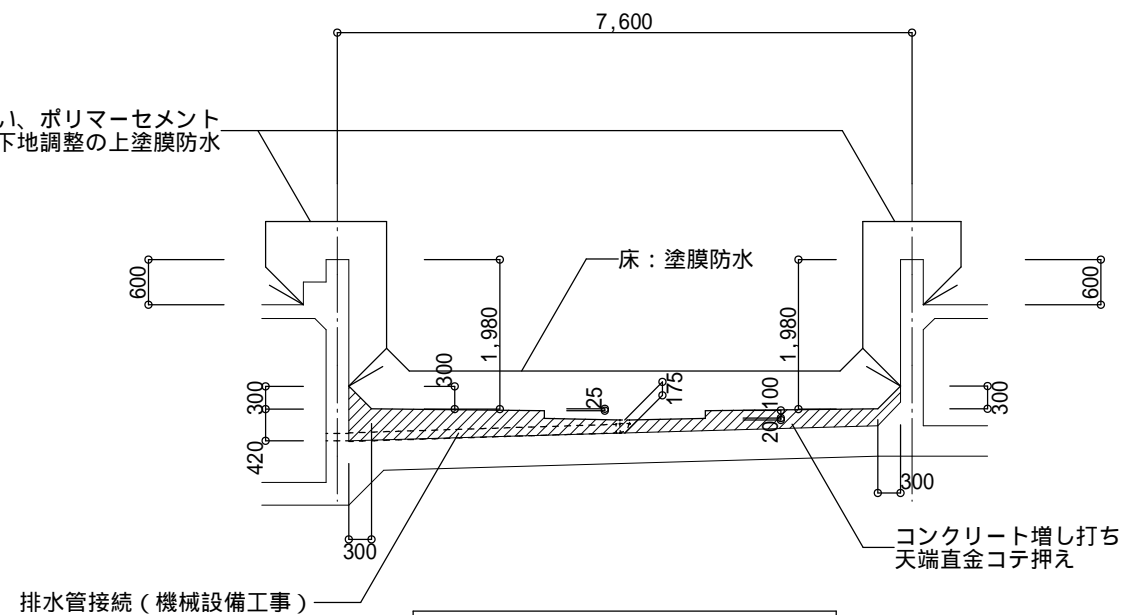
水量ライン (アクリルウレタン系塗料) 5～45 t (5 t 刻み) 位置は協議の上決定

立上り壁：高圧水洗い、ポリマーセメント  
下地調整の上塗膜防水



A - A' 断面図 1/100

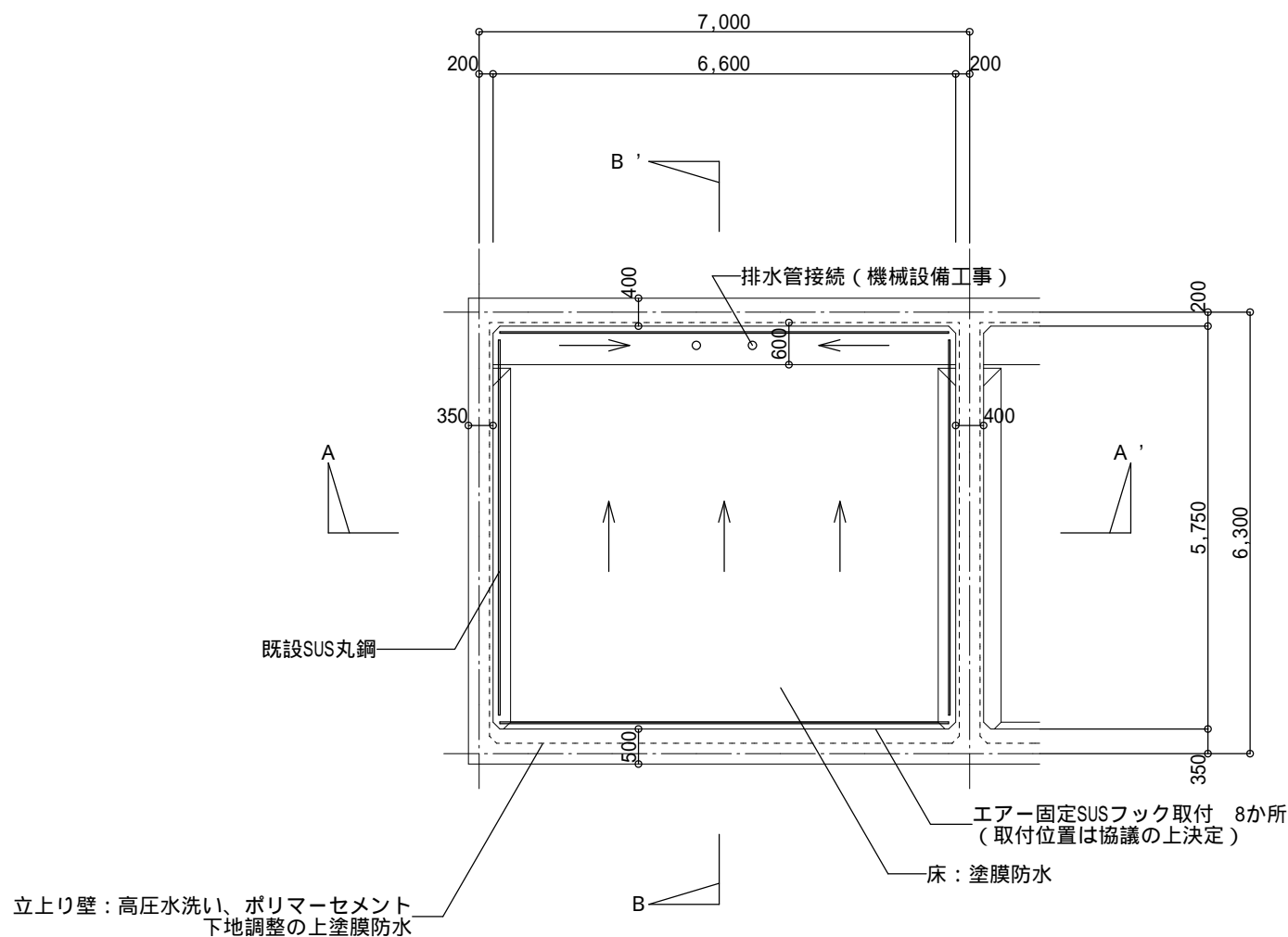
立上り壁：高圧水洗い、ポリマーセメント  
下地調整の上塗膜防水



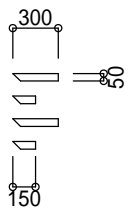
B - B' 断面図 1/100

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 A 09
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ガザミ水槽改修平面図、断面図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1 / 100		



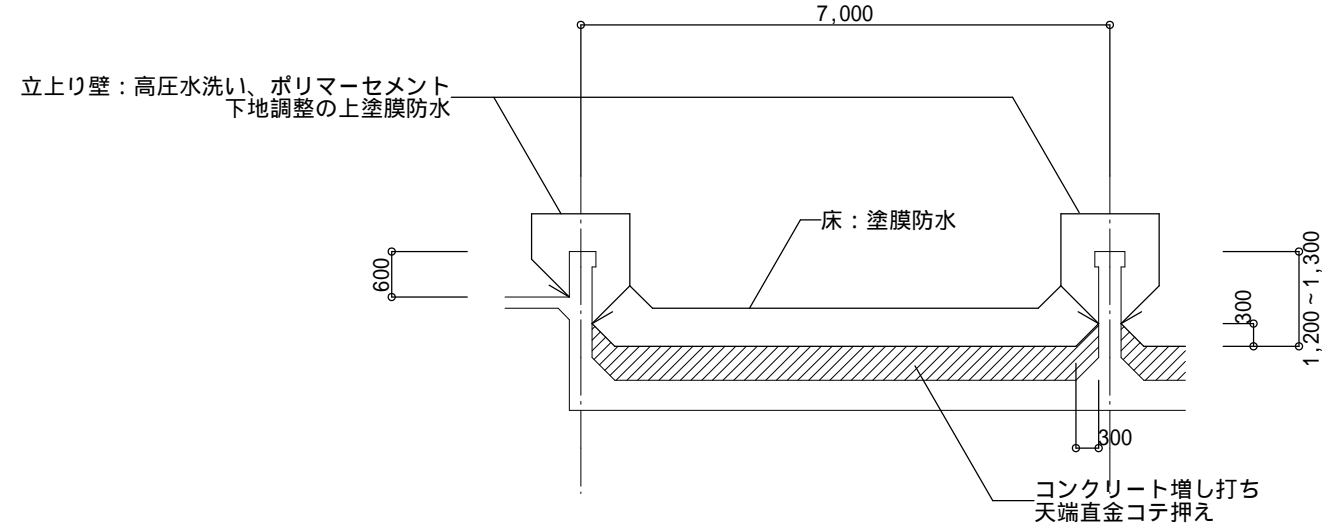


改修平面図 1/100

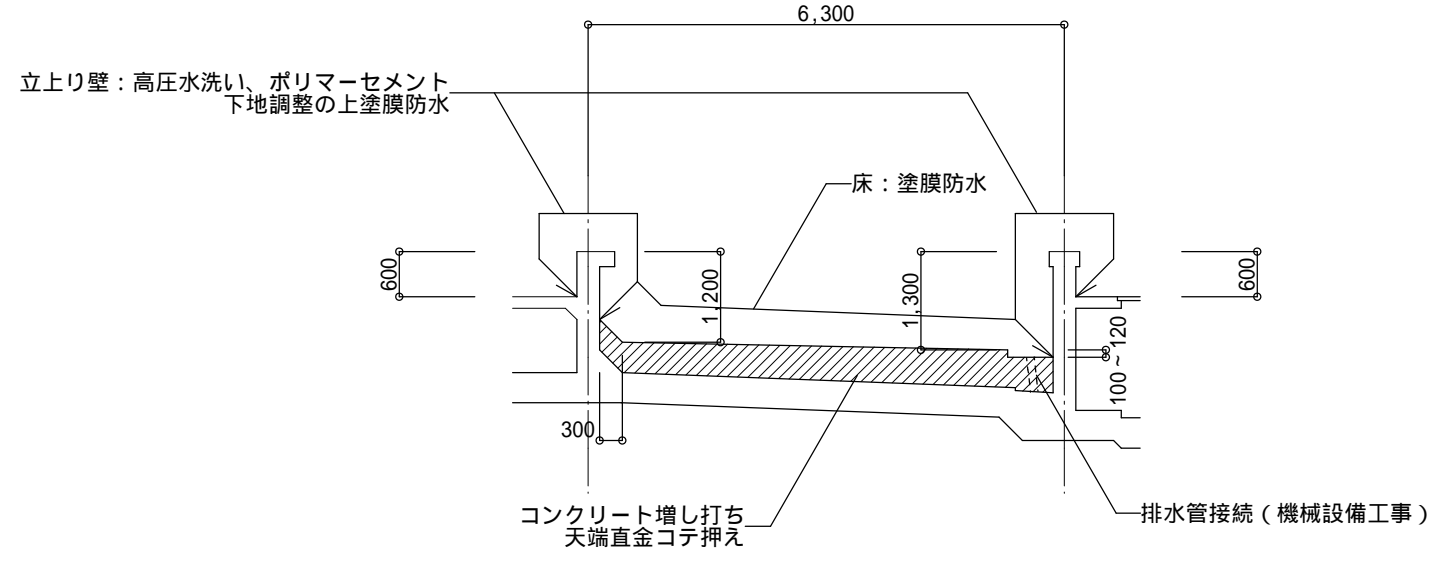


水量ライン参考図 1/50

水量ライン (アクリルウレタン系塗料) 5 ~ 30 t (5 t 刻み) 位置は協議の上決定

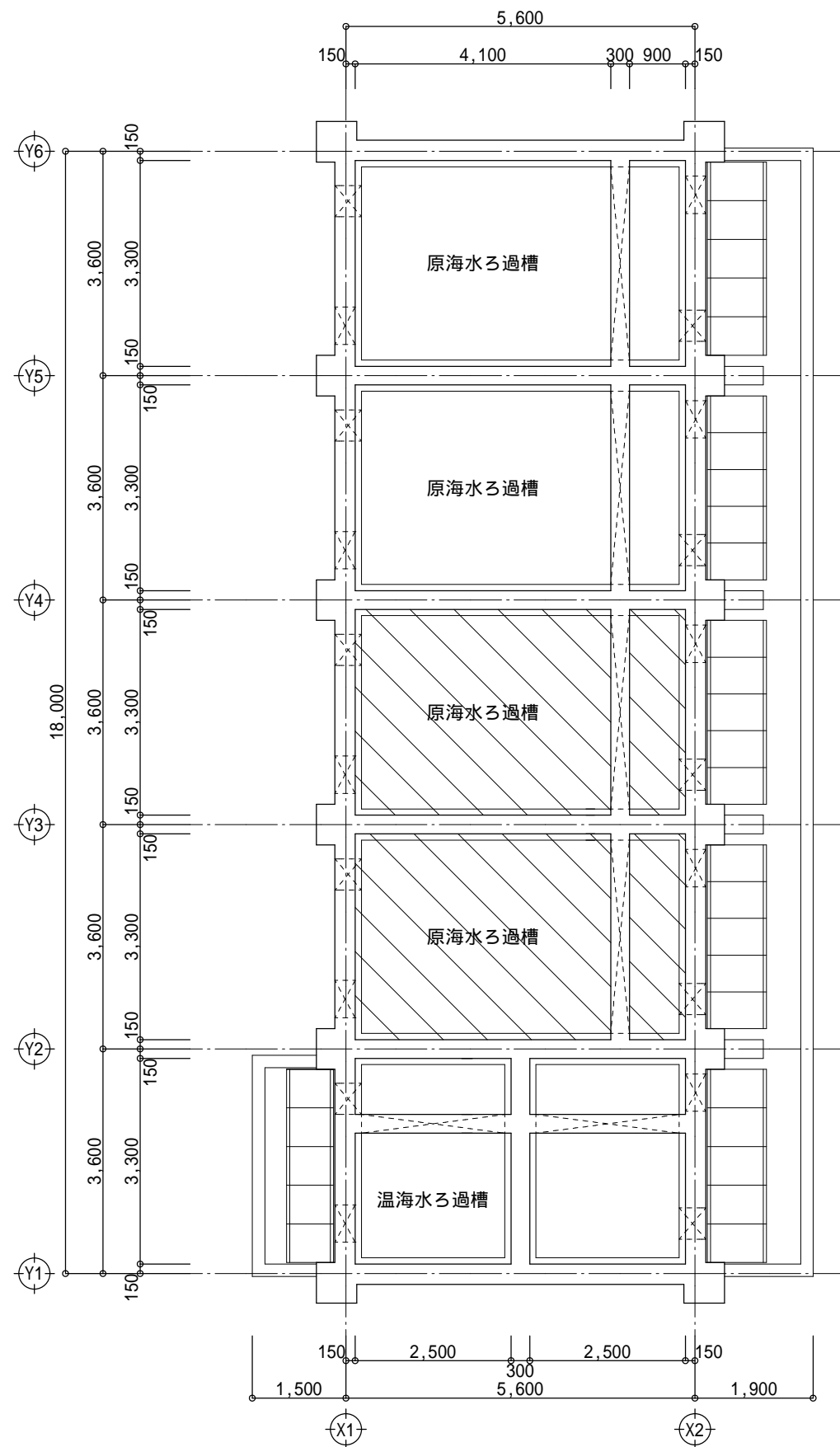


A - A' 断面図 1/100



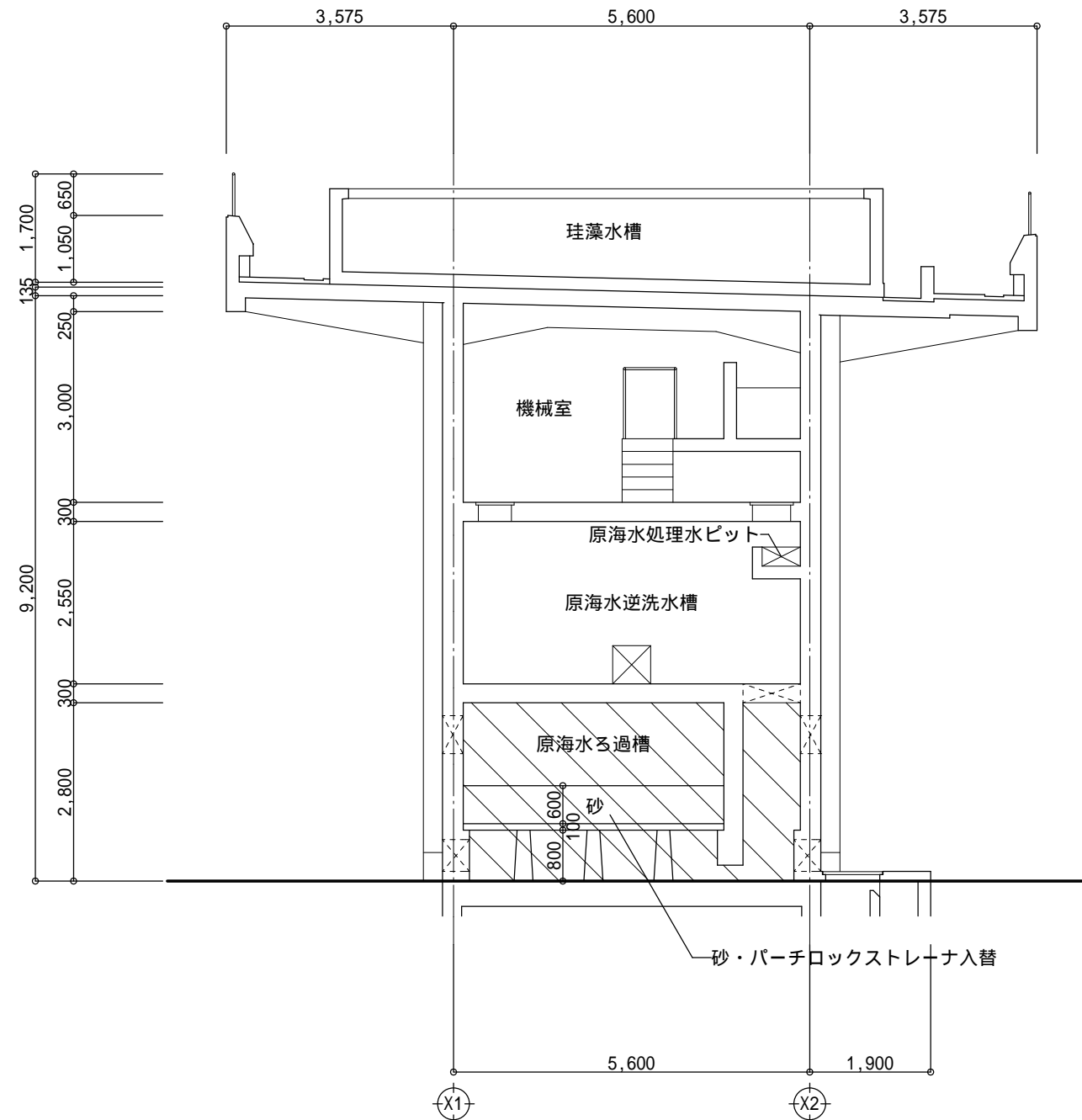
B - B' 断面図 1/100

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 A 11
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ワムシ水槽 (大) 改修平面図、断面図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1 / 100		



1 階平面図 1/100

既設塗布防水撤去、高圧水洗い、  
ポリマーセメント下地調整の上塗膜防水



断面図 1/100

既設塗布防水撤去、高圧水洗い、  
ポリマーセメント下地調整の上塗膜防水

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和 2 年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和 2 年 月 日	図面番号 A 12
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ろ過棟現況・改修平面図、断面図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1 / 100		

電気設備工事特記仕様書

工事名	水産技術センター栽培漁業施設改築工事												
工事場所	大阪府泉南郡岬町多奈川谷川 2926-2												
工事期間	令和	年	(	年)	月	日	～	令和	年	(	年)	月	日
建築概要	構造	S	造	⊙	R C	造	・	S R C	造	・	(	造)	
	階数	地上 ( ) 階				地下 ( ) 階							
	建築面積	( ) m <sup>2</sup>				延床面積				( ) m <sup>2</sup>			
図面枚数	( ) 枚												
別途工事	⊙建築工事（昇降機設備工事含む） ⊙機械設備工事 ・ガス設備工事 ・植栽工事												
工事概要及び工事範囲	当該施設のポンプ室において、更新される取水ポンプ（機械設備）の制御盤を新設し、配管配線を行う。 _____ _____ _____ _____												

一般共通事項 ●印のついたものを本工事に適用する。ただし、●印がない場合は※印を適用する。

1. 本工事は図面・本特記仕様書及び電気設備技術基準・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）〔最新版〕及び公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）〔最新版〕（以下、標準仕様書という）  
・内線規程関係規則に準拠して完全に施工する。
2. 受注者は工事目的及び工事材料等について、火災保険及び第三者に対する損害保険をかけること。また工事期間中、受注者の責任において労災保険に加入し、その費用は受注者の負担とする。
3. 工事仕様の優先順位は、次のとおりとする。 ①質疑回答書 ②現場説明書 ③本特記仕様書 ④図面 ⑤標準仕様書
4. 工事に関する電力会社・保安協会・消防署等その他官公署への手続きは全て受注者が迅速に代行し、費用は受注者の負担とする。なお、控えとして1部を申請先の官公署等の受印のうえ、監督員に提出すること。
5. 工事着工にあたり工事責任者を定め、実施工程表及び使用材料の製作者一覧表を提出すること。また、内訳明細書を作成し提出すること。内訳明細書の部数は監督員の指示による。
6. 工事施工前に施工図・製作図を作成し、監督員の承諾を受けた後、工事等に着工する。また、機器の現場搬入までに工場試験成績書を提出すること。
7. 工事進捗については連絡・打合わせを円滑に行い他工事との取り合いは監督員の指示に従い他業者と協調し、完全に施工すること。
8. 図面・仕様上の納まり又は取合いによって生じた軽微な変更及び構造・外観上その他の理由により当然と認められるものは、監督員の指示によって施工する。この場合の請負代金額は増減しない。また、施工上既設建築物との取合い等で既存の配管障害物及びボックス等の移設が生じたときは、その移設も本工事に含むものとし、請負代金額の増減はしない。
9. 工事期間中は掘削部、落下物等に対して仮設養生に万全を期すること。
10. 工用水については、構内既存の施設を ※利用できない。 ○利用できる。
11. 工所用電力及び電灯については、構内既存の施設を ※利用できない。 ○利用できる。
12. 発生材の処理について  
※構外搬出適正処理とする。  
再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令等によるほか、建設物副産物適正処理推進要項に従い適正に処理し、産業廃棄物処理関係書類を提出すること。  
○建築工事特記仕様書による。
13. 工事期間中は、週間工程表・月間工程表を提出すること。
14. 工事写真は、工事着工前・工事中・完成時・事故発生時及び監督員の指示する場所を撮影し提出する。カラーサービス版とし、写真、ネガまたはデータ（C D－R等）各1部を整理して提出すること。  
・工事写真の撮り方（最新版）設備編 （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
15. 出来形検査および完成検査は、監督員の認める検査を受け合格した後、請求できるものとする。  
なお、検査または試験の費用は、全て受注者の負担とする。
16. 完成図提出は、次のとおりとする。  
A 3版2ツ折り製本 ※ 2冊 ○ ( ) 冊 及びC A Dデータ（C D－R等）… J W W , S F X（またはD X F）, P D F ,  
その他任意のC A D形式 ○建築工事特記仕様書による。

17. 本工事及び分離工事の請負代金額の合計が2 5 0万円を超える場合は、工事名、工事期間、請負代金額の合計、設計、監理及び各工事受注者その他必要事項を記入し、指示する場所に表示のこと。（A 2版程度・1か所）
18. 請負代金額5 0 0万円以上の場合は、（財）日本建設情報総合センターに工事実績情報の登録を行うこと。  
(1) 工事受注時 契約締結後 1 0日以内  
(2) 登録内容の変更時 変更契約締結後 1 0日以内  
(3) 工事完成時 工事完成後 1 0日以内
19. 受検必要書類  
完成図・工事月報・工事日誌・工事写真・主要材料納入検査報告書・変更工事報告書・主要材料製作所一覧表・各種試験成績書・諸官庁の検査済証（届出控共）・機器保証書（1年を超えるもの）・取扱説明書・機器完成図・産業廃棄物処理関係書類・再生資源利用計画書及び実施書・再生資源利用促進計画書及び実施書  
その他監督員の指示するもの）
20. 工事完成引渡し後、施工上の欠陥あるいは使用材料の不良により生じた破損及び故障箇所は直ちに無償で修理すること。ただし、契約書等で保証期間等を明記のものはそれに従う。
21. その他、建築工事の下請けの場合は建築工事特記仕様書による。

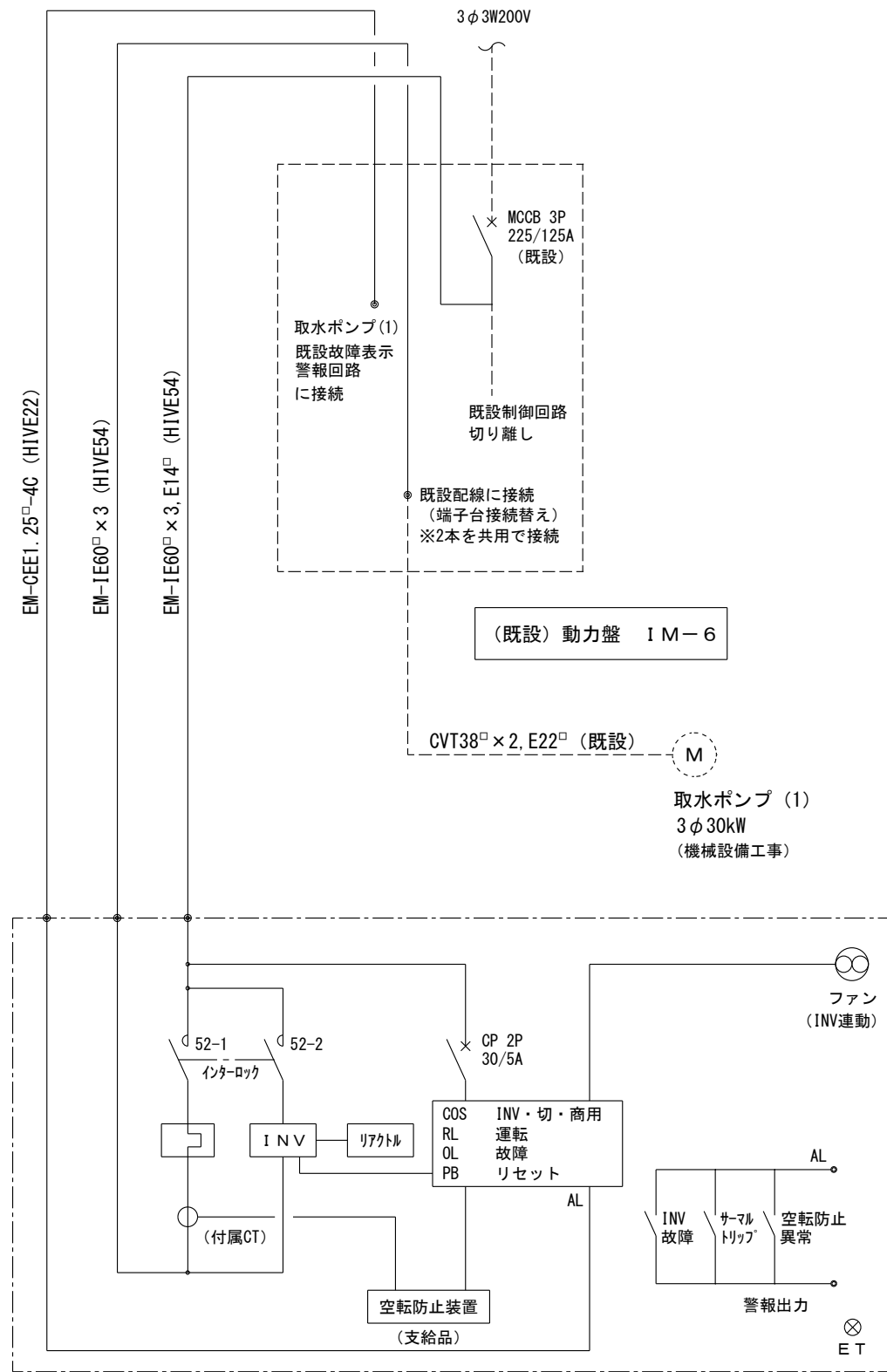
特記事項

1. 特記無きものは、耐熱性ポリエチレン絶縁電線（EM電線）を使用し、次の色別によるものとする。（接地線は緑または黄標示）  
（低圧三相3線式－赤・白・青 低圧单相3線式－赤・白・黒）
2. 特記なきものは、ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル（EMケーブル）を使用し、電線の色別は特記事項1に準ずる。
3. ボックスはすべて点検できるところに設ける。点検できない所に取付ける場合は点検口を設ける。
4. 蛍光灯はHfインパーターとする。蛍光灯安定器は一般型定格出力とし、それ以外の場合は監督員と協議のこと。
5. H F 1 6 W×2、H F 3 2 W×1、電池内蔵型H F 1 6 W×1、その他3 k g以上の照明器具は呼び径9 mm以上の吊りボルトで構造物より吊ること。  
ただし、二重天井に取付けるH F 1 6 W×2以下及びホームライトはこの限りではない。
6. アース端子付きの機器・盤等は、強電・弱電を問わずに全て接地を施すこと。
7. 扉付の盤等は全て鍵付とする。また、名称板はアクリルエッチングとし、結線図をカードホルダーに入れる。
8. 分電盤・動力盤及び受信機等を屋外及び水気・湿気のある場所に自立して設置するときはコンクリート台（厚さ1 0 0 mm以上）を設けること。
9. 屋外及び水気・湿気のある場所に取付ける器具・配線器具・盤及びボックス等は図面の記載のない場合も防水形（防湿形）とする。
10. 配線器具のプレートは新金属又はステンレスプレートとする。
11. 屋外に設置するプルボックスは、溶融亜鉛メッキ仕上げまたはステンレスとし、固定するための取付穴は内部とすることができる。なお、閉蓋用ビスについてはステンレス製の六角形＋兼用溝とする。
12. 接地工事については、図面の記載のない場合も適宜接地し、埋設標示板（真鍮製）を取付けること。
13. はつり箇所等破損部は、完全に補修すること。
14. E P S・機械室・屋上以外の露出配管は、すべて塗装を行うこと。また、屋外の露出配管で塗装を行わない場合は厚鋼電線管（溶融亜鉛めっき）にすること。なお、本工事との取り合いにより影響を受ける既設露出配管・プルボックス等も、全て清掃し塗装を行うこと。
15. 外壁面取付用ボルト類は、ステンレス製とする。

◆主要機材指定メーカー一覧表（または、監督員が同等以上と認めるもの）

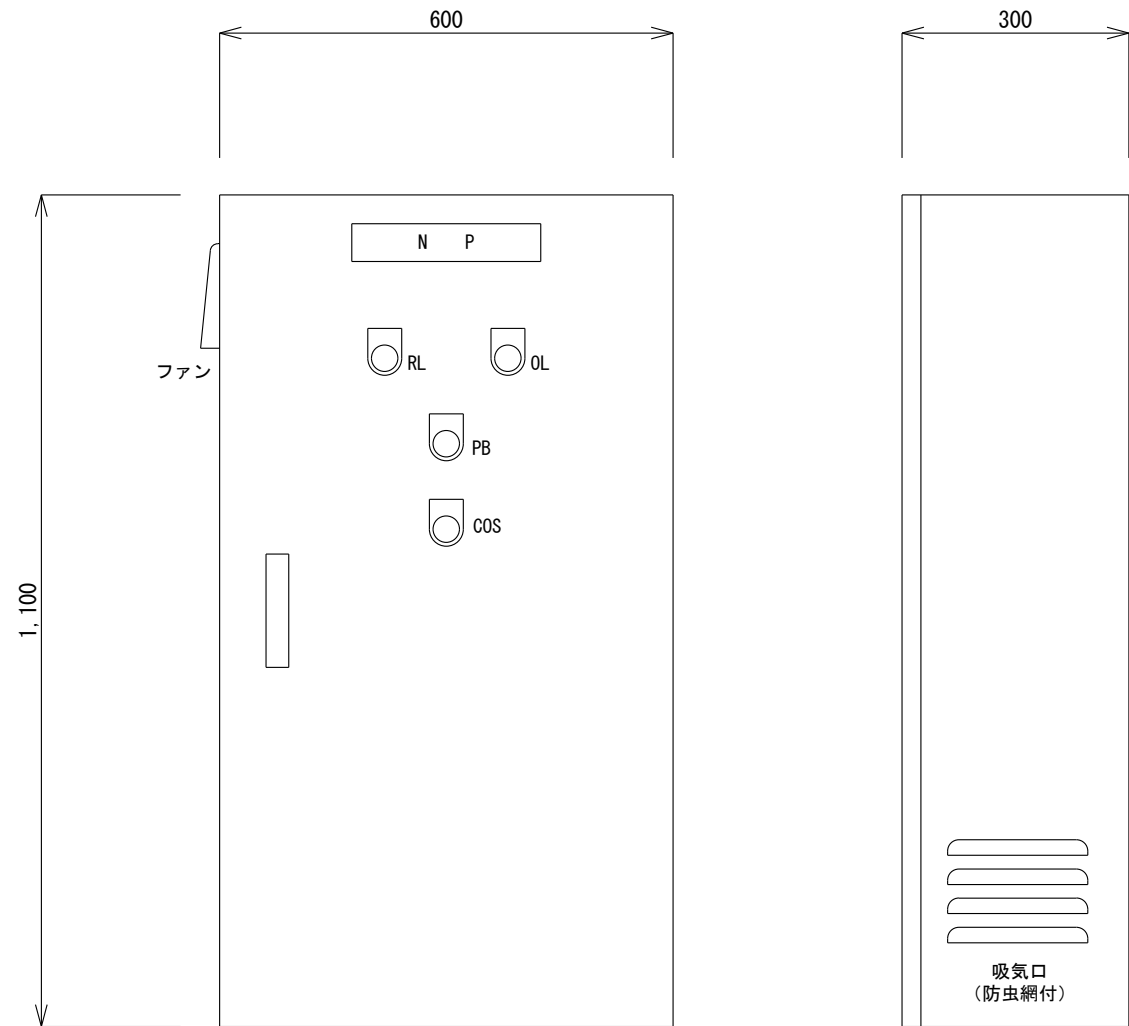
電線、ケーブル	JIS、JCS、JCMAの規格品					
電線管及び付属品	JIS規格品					
制御盤類	日立産機システム					

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 <div>E</div> <div>01</div>
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 電気設備工事特記仕様書		工事番号	
代表者	設計		縮尺A 1	縮尺A 3 NTS		



INV-1 結線図

(注記) 空転防止装置仕様：セイコー化工機㈱ DRP AC200V30KW  
機械設備よりの支給品を盤メーカーに送付し組込むこと



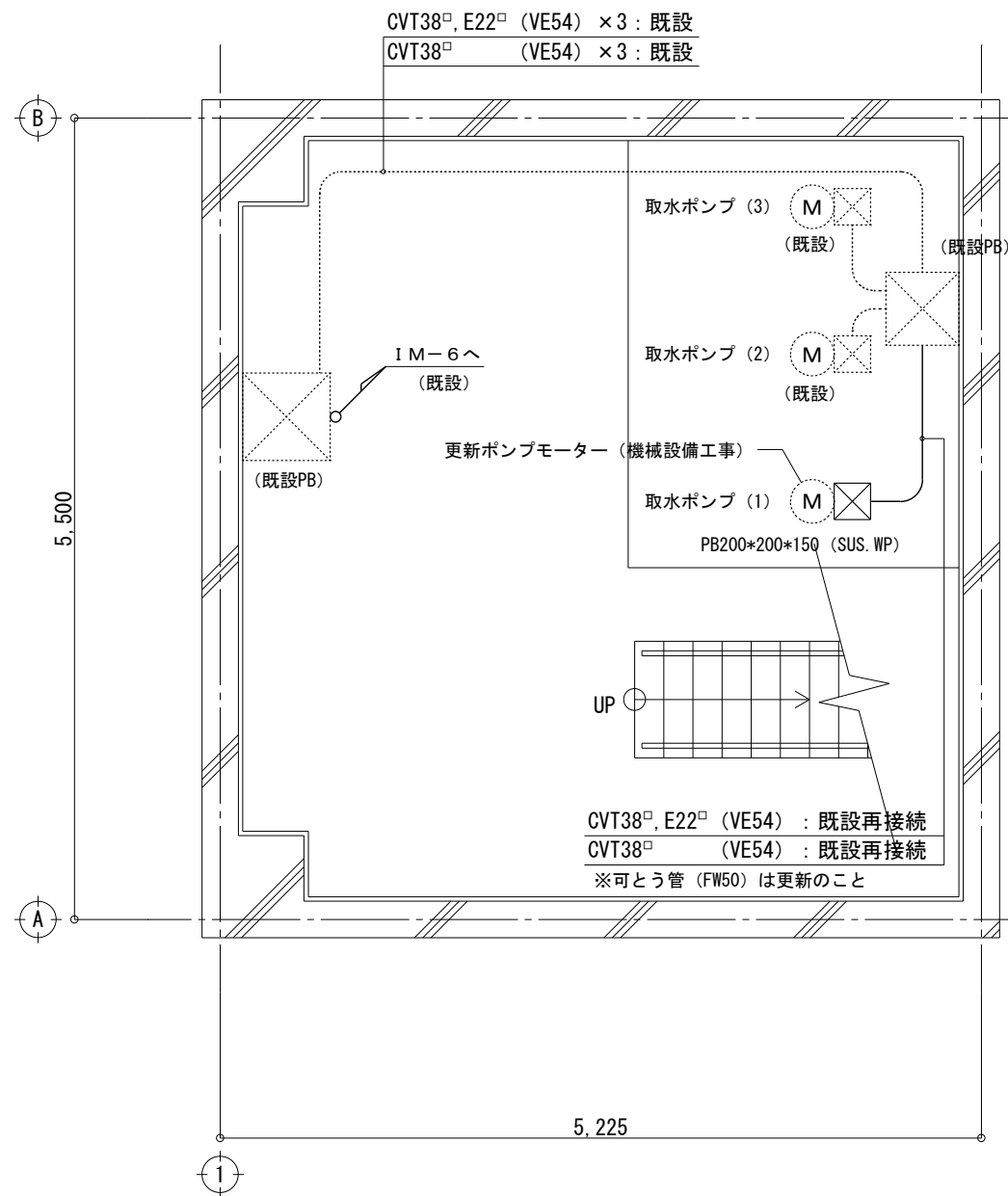
【特記事項】

屋内露出型（重耐塩仕様）  
国土交通省仕様  
NP名称「取水ポンプ（1）インバーター盤」  
200番キー付ハンドル  
メーカー標準色塗装  
寸法は参考とする（極力コンパクトに納めるものとする）

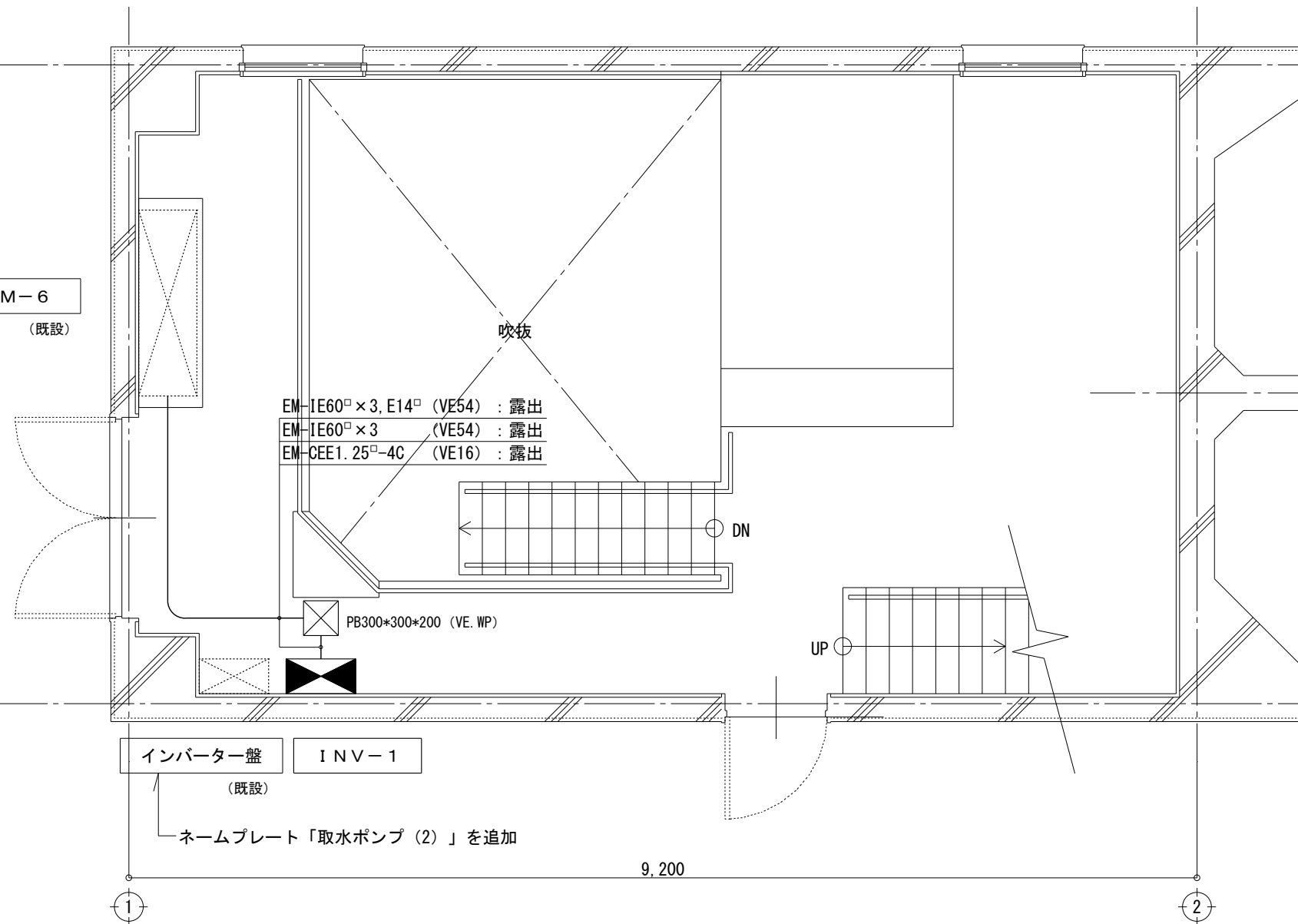
参考メーカー：株式会社 日立産機システム 関西支社  
（上記相当品以上とする）

INV-1 姿図 S=1/10

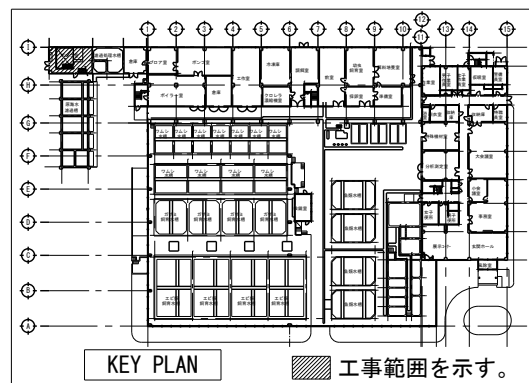
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 E 02
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 インバーター盤 結線図・姿図		工事番号	
代表者	設計		縮尺A 1	縮尺A 3 1/10		



地下部平面図 1/50



1階平面図 1/50



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 E 03
		図面名称 ポンプ棟電気設備図		工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/50		

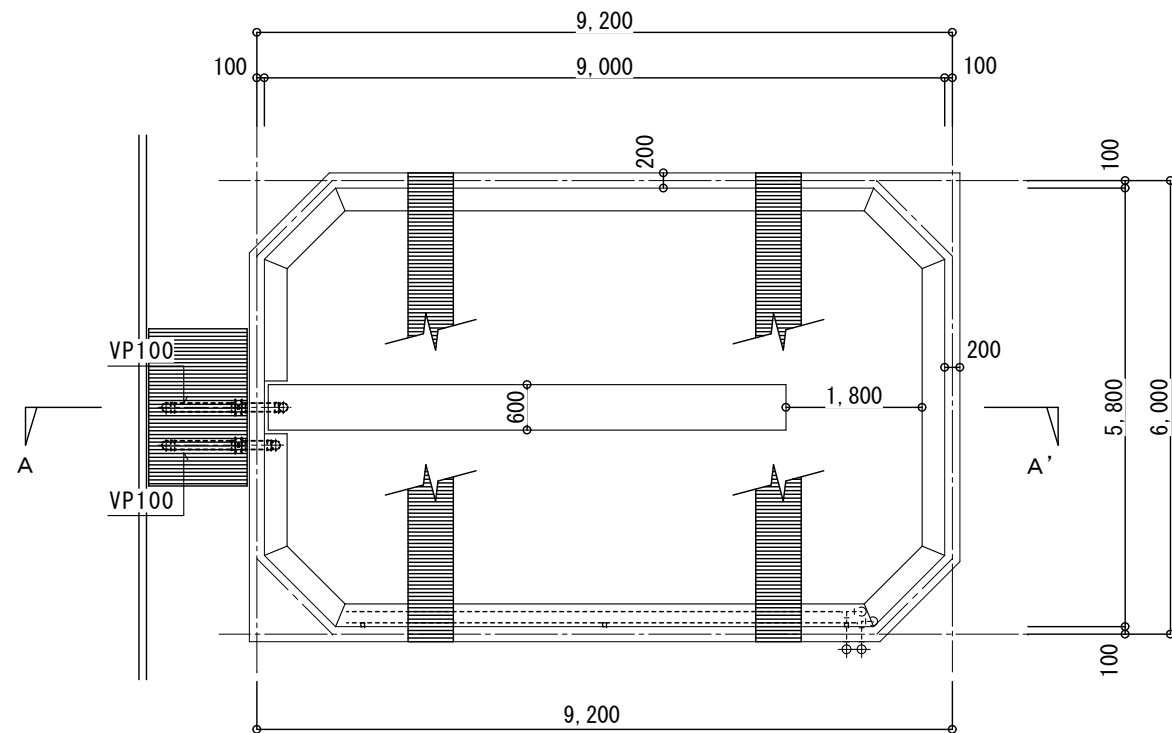
特記仕様書				(機械設備工事) 「●」を付けたものを適用する。(但し「●」の無いものは「※」を適用する。)			
Ⅰ. 設計概要							
工事名称		水産技術センター栽培漁業施設改築工事					
工事場所		大阪府泉南郡岬町多奈川谷川2926-1					
工事期間		自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日					
工事種目							
		機械設備工事				備 考	
●	(1)	配管脱着工事		魚類水槽、ガザミ水槽、ワムシ水槽			
●	(2)	ろ過配管工事		ろ過棟			
●	(3)	取水ポンプ工事		ポンプ棟			
Ⅱ. 一般事項							
施工基準		本工事は、日本建築家協会監修の機械設備工事共通仕様書(最新版)、及び本仕様書、消防法、建築基準法、その他関係法令、添付図面、工事請負契約書並びに係員の指示に従い、関係官庁の規程により施工する。					
		優先順位は、1. 現場説明書 2. 本特記仕様書 3. 図面 4. 共通仕様書とする。					
施工図面		施工にあたっては、現場着工前に必ず既設設備状況を充分調査し、施工詳細図を作成の事。施工は係員の承認を受けた後に施工を行う事。					
		万一設計図書について疑義あるときは必ず事前に係員と打合せをし その指示に従う。					
使用機材		本工事に使用する諸材料並びに製作品は、諸取締規則並びにJIS規格のあるものは各々それに合格した品質優良な新品とし、見本品、又は製作詳細図を提出し、係員の承認を受けた後、正式に発注、製作に着手する。					
製作品検査		使用諸製作品の完成に際しては、性能試験は勿論のこと、形状・色彩についても細部にわたる自主検査を行い、それに合格した後現場へ搬入する。係員の指示のある場合は立会検査を行う。					
別途工事への協力と調整		工事を完成するために、密接に関係する別途工事については、施工者は別途工事の施工に協力すると共に、円滑な工事進捗が行われるよう調整する。					
工事写真		本工事施工については、係員の指示により工事写真・竣工写真を撮り、提出すること。部数については、係員の指示による。					
軽微な変更		設計図書に明記なくとも機能上・構造上当然必要と認められる軽微なものは、係員の指示に従い、本工事請負金の内で施工すること。					
完成引渡		工事完成に際しては、予め施工者が検査を行った後、係員に報告し、所轄官公署の検査を受け、合格した後に係員の完成検査を受ける。					
		引渡しに際しては、官公署その他許可書、検査証、及び竣工図(サイズ、部数は係員より指示する)試運転データ、各種名札付キーを添えて引渡しを行う。					
		各種機械にはその製作者、製作月日、機器番号等の標示を係員指示の個所に附し、別にその機器の使用法、注意事項等の説明書を取揃え、提出する。					

工事保証		施工者は、工事完成後でも工事の不完全納入品の欠陥に起因する故障は、一年間保証の責に任じ、直ちに修理又は良品と取替えること。					
仮設電力料金等		工事用、試験用の電力、上水、燃料等諸費用は本工事に含む。建築主に帰属する設備より供給を受ける場合は、必要な個所に計量器を設け、竣工引渡し時に建築主立合のもとに計量器を読みとり清算措置をとるものとする。又受電後、引渡しまでの電気基本料金及び電気使用料金は本工事に含む。					
現場の納まり		本設計図書は工事の大意を示すものであるから、詳細・位置等については係員と打合せの上、その指示に従い施工のこと。					
施工管理責任		施工者は契約図書(施工基準に示す)の内容の工事を完成するために施工計画を立て、実施するに当たり、工程管理、品質管理、出来高管理、安全管理などを責任をもって行うこと。					
Ⅲ. 使用材料							
1. 配管材料							
名 称		給 水		ろ過水		特 記	
		屋 内	屋 外	屋 内	屋 外		
水道用硬質塩化ビニル管(VP)				●	●	※屋外ろ過配管は、外面FRP巻き及び塗装仕上げとする。(図面指示)	
耐衝撃塩化ビニル管(HIVP)		●	●				
2. 弁類							
名 称		耐 圧		呼 径		材 質	
ゲ ー ト 弁		5 K		5 0 A 以下		青銅製	
				6 5 A 以上		鋳鉄製	
		1 0 K		5 0 A 以下		青銅製	
				6 5 A 以上		鋳鉄製	
チャ ッ キ 弁		1 0 K		5 0 A 以下		青銅製	
バ タ フ ラ イ 弁		1 0 K		6 5 A 以上		塩ビ製、鋳鉄製	
ボ ー ル 弁		1 0 K		5 0 A 以下		青銅製	
3. 使用材料指定メーカー(下記指定メーカー同等品以上)							
FRP製ポンプ		セイコー化工機(株)					
塩ビ製バルブ		旭有機材・積水化学工業					
自動バタフライバルブ		旭有機材					

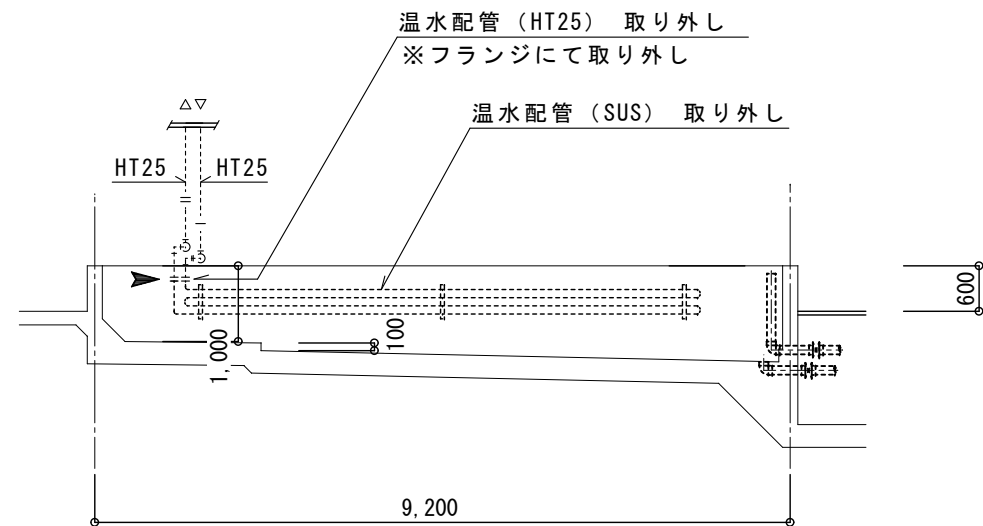
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日		図面番号 M / 01
				工事番号		
代表者	設計		縮尺A1	縮尺A3 —		



現況・撤去図

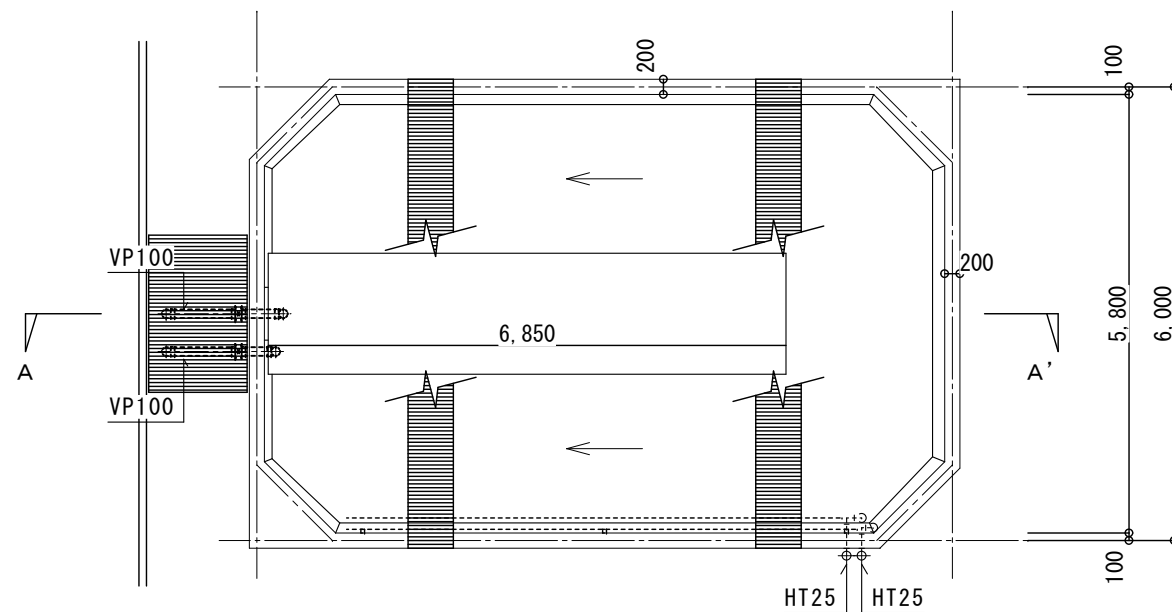


現況平面図 1/100

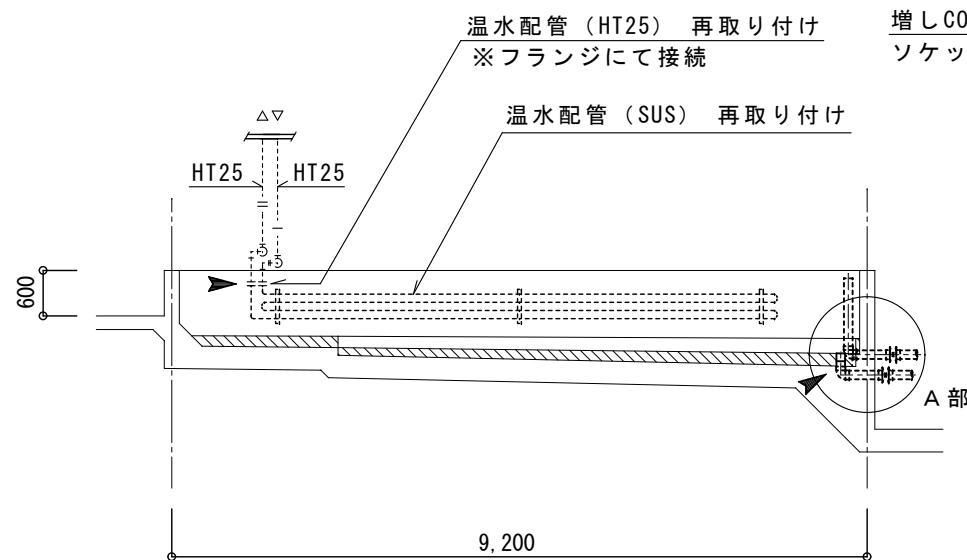


A-A' 断面図 1/100

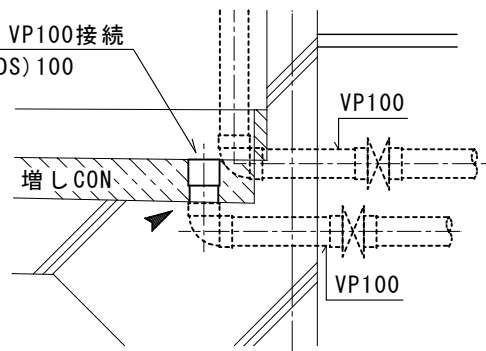
改修図



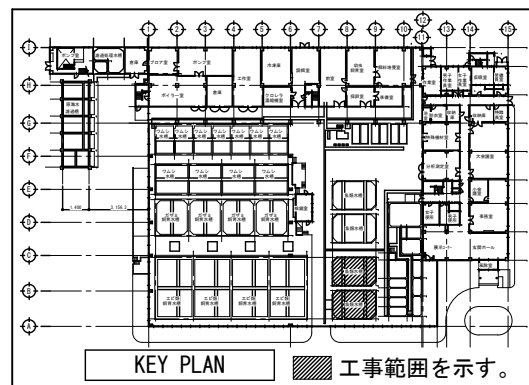
改修平面図 1/100



A-A' 断面図 1/100



A部詳細図 1/30



KEY PLAN

工事範囲を示す。

(注記)

1. 図中 ▲ は、既設管取り外し接続部を表す。
2. 図中 — は、新設配管を表す。
3. 図中 - - - は、既設管を表す。
4. 図中 - x - x - x - x - x は、撤去管を表す。

地方独立行政法人  
大阪府立環境農林水産総合研究所

工事名称  
令和2年度  
水産技術センター栽培漁業施設改築工事

設計年月日  
令和2年 月 日

図面番号

M

株式会社 中尾建築事務所

図面名称  
魚類水槽 現況・撤去、改修配管図

工事番号

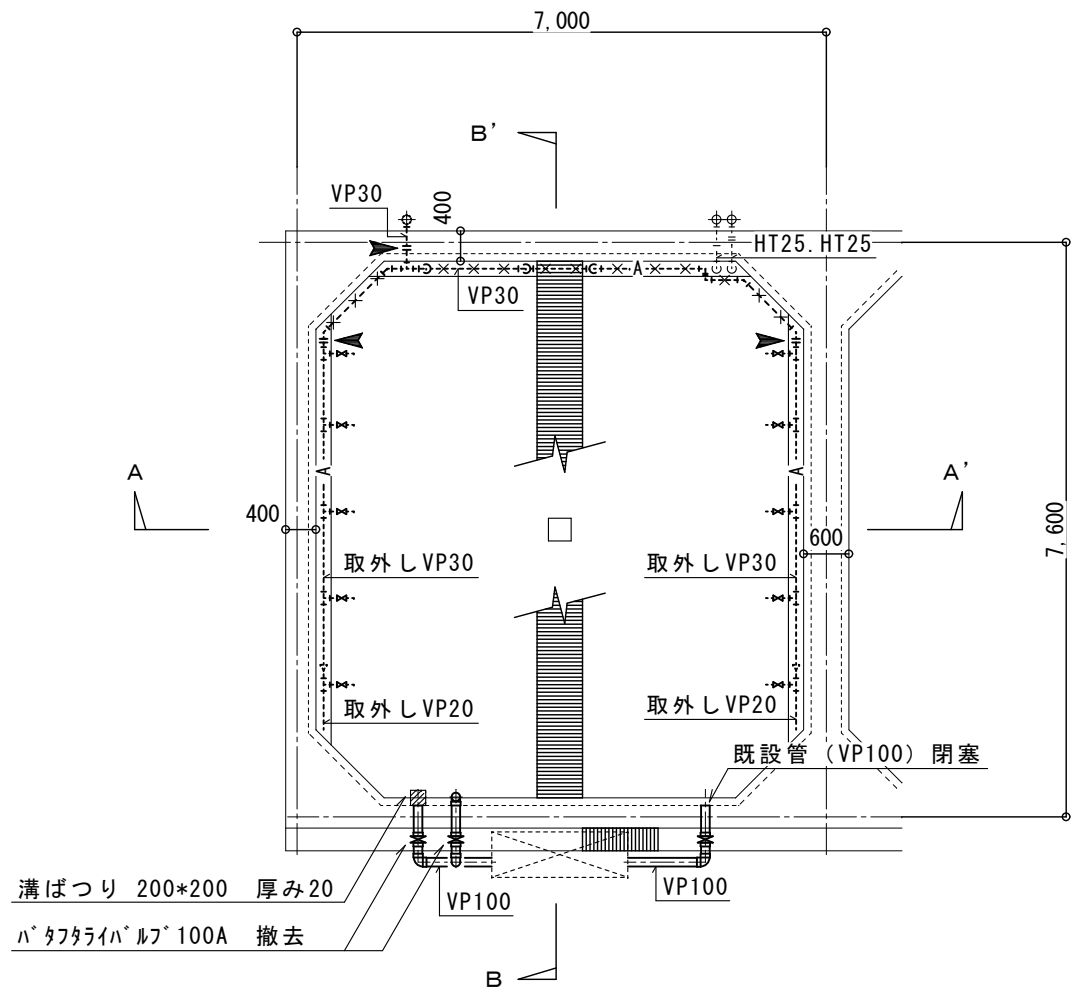
代表者

設計

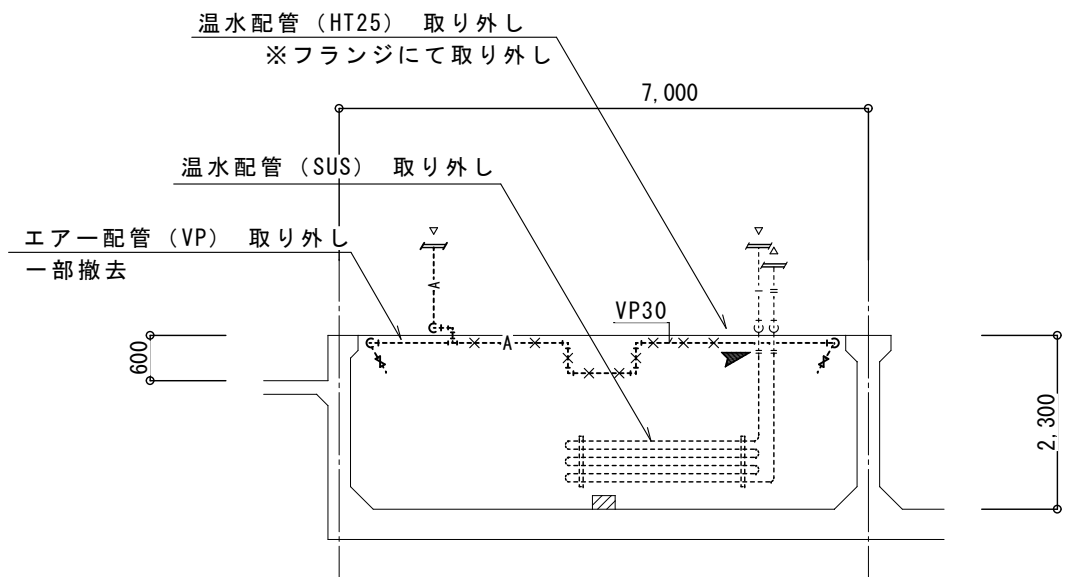
縮尺 A 1

縮尺 A 3  
1/100・1/30

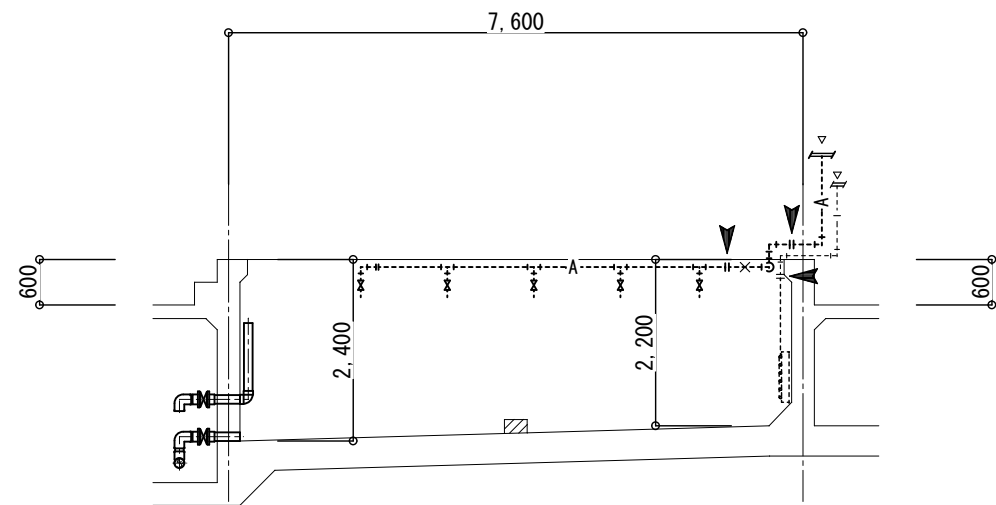
02



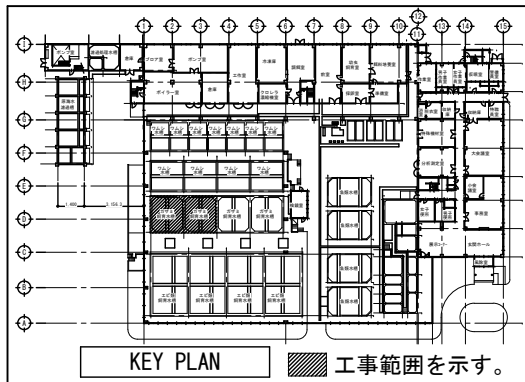
現況平面図 1/100



A-A' 断面図 1/100

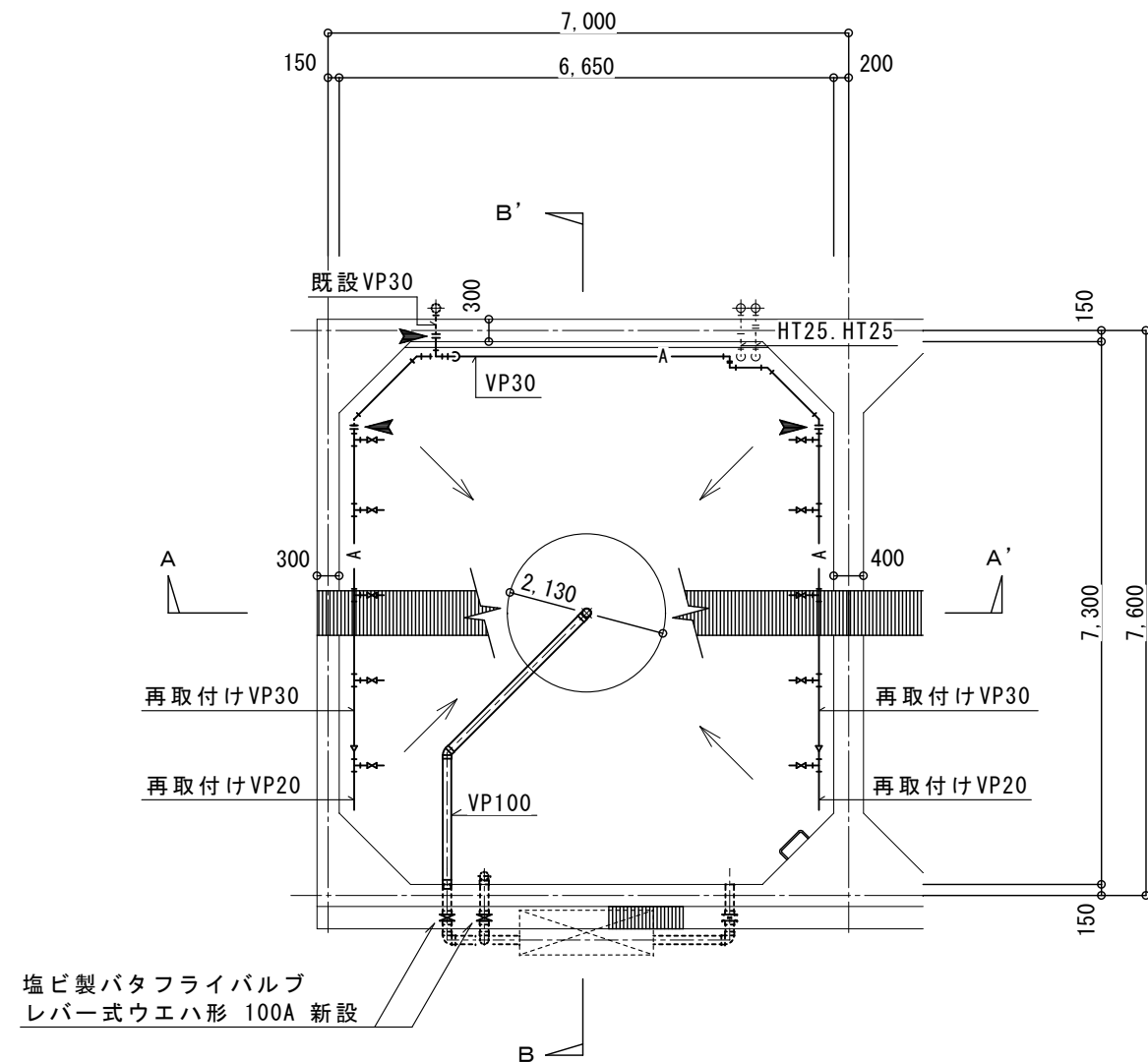


B-B' 断面図 1/100

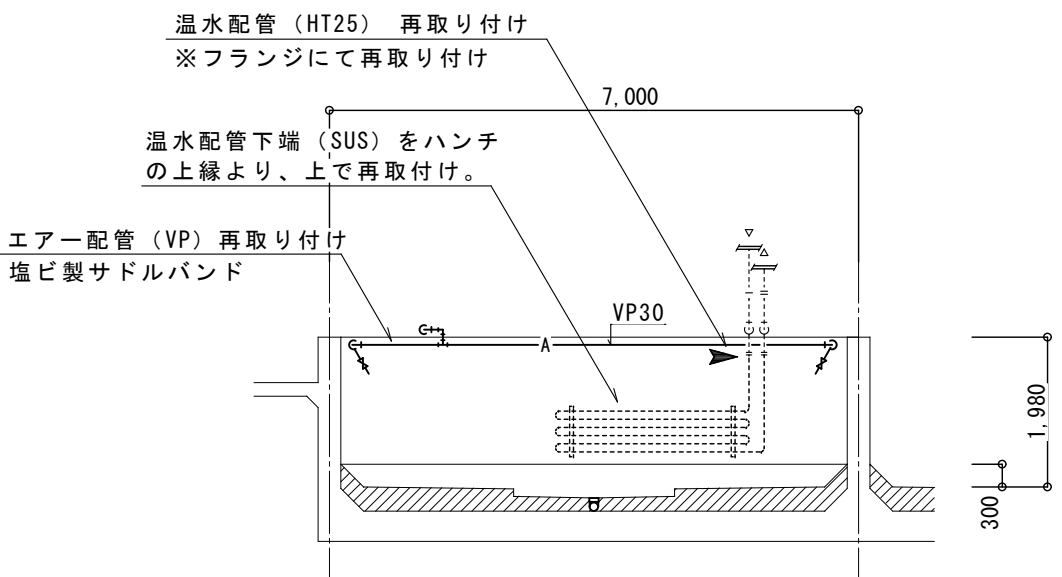
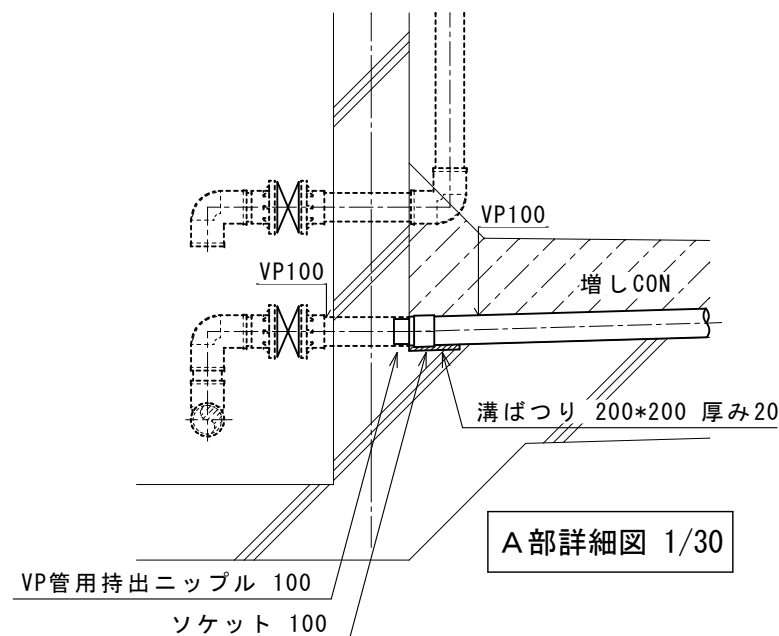


- (注記)
1. 図中 ▲ は、既設管取り外し接続部を表す。
  2. 図中 — は、新設配管を表す。
  3. 図中 - - - は、既設管を表す。
  4. 図中 - x - x - x - x - x は、撤去管を表す。

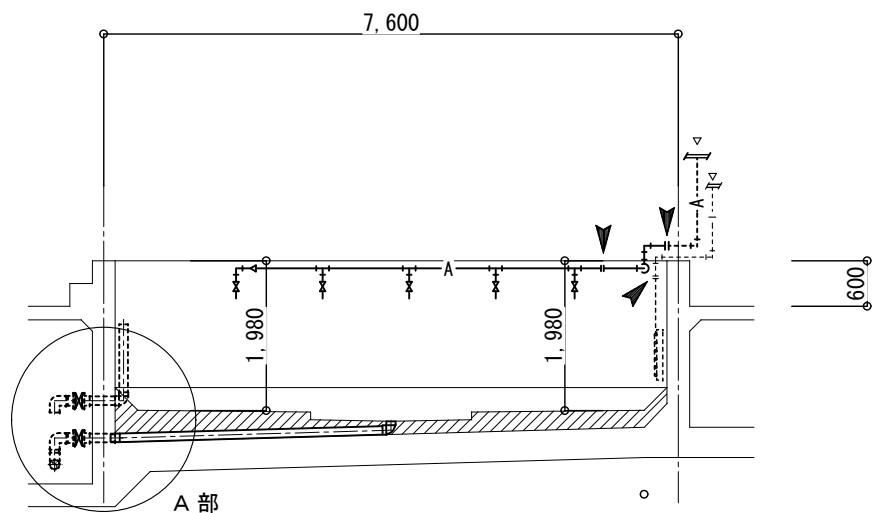
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事	設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 M 03
株式会社 中尾建築事務所		図面名称 ガザミ水槽 現況・撤去配管図	工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1 1/100		



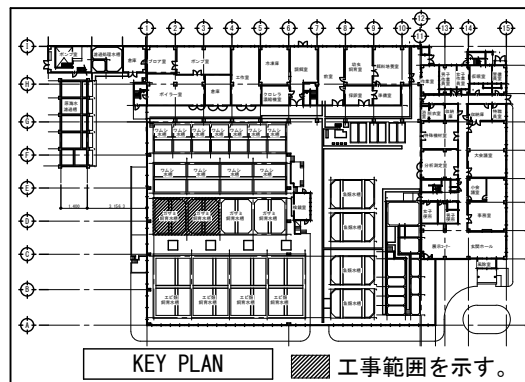
改修平面図 1/100



A-A' 断面図 1/100



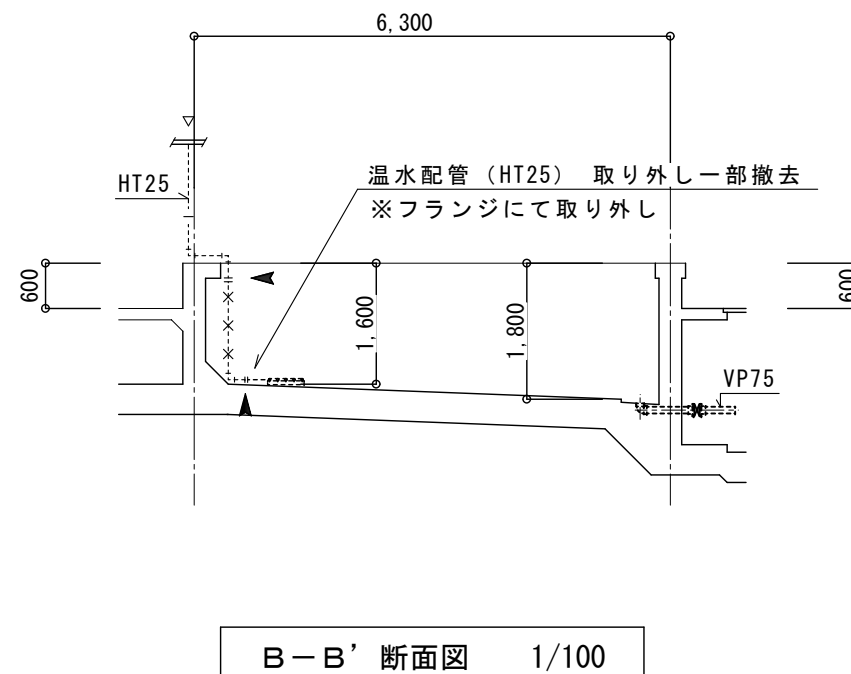
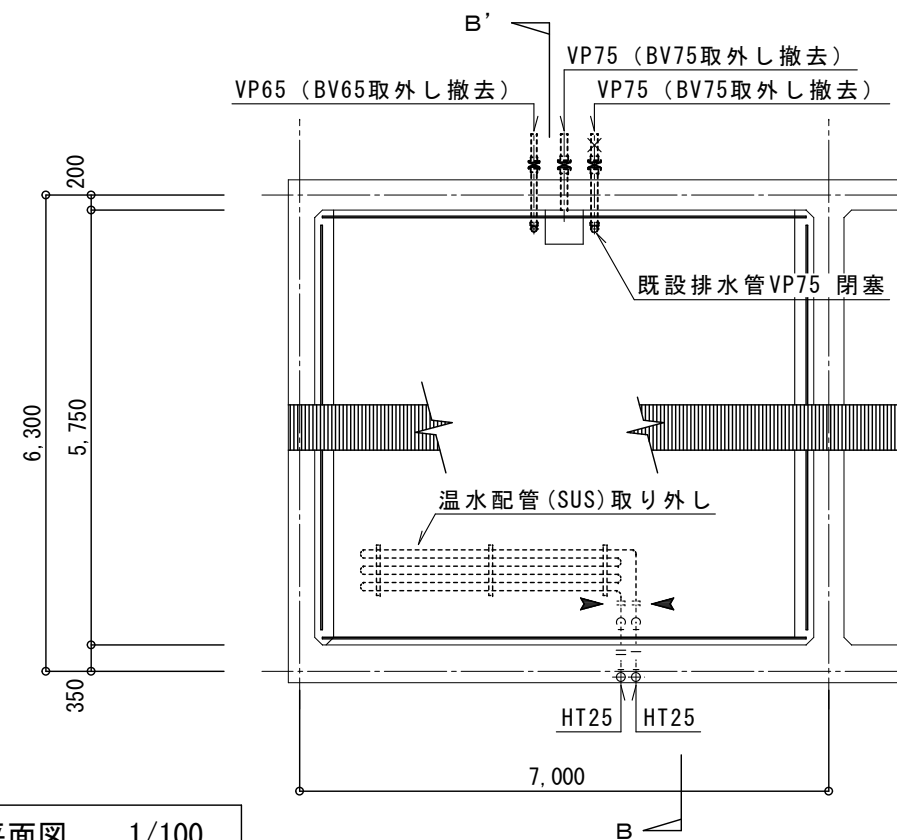
B-B' 断面図 1/100



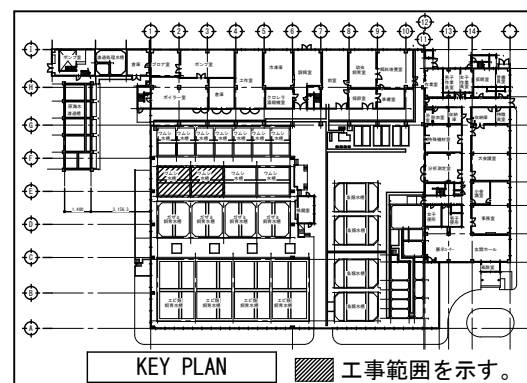
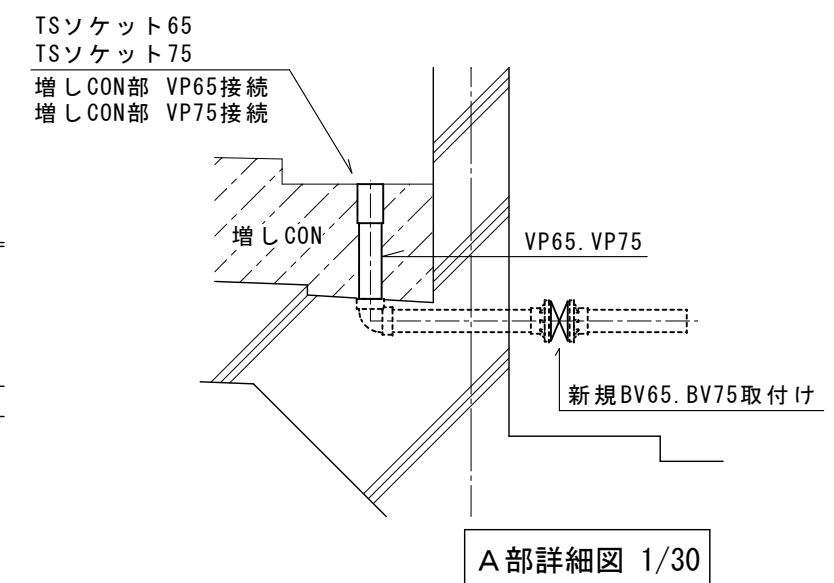
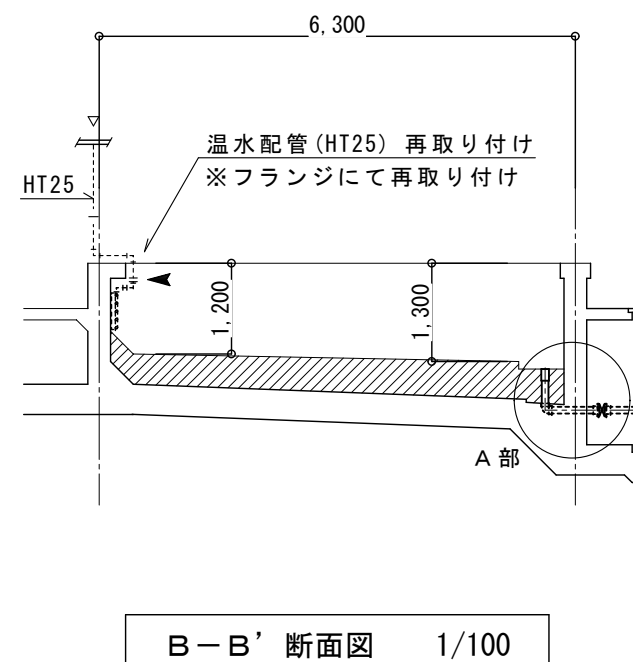
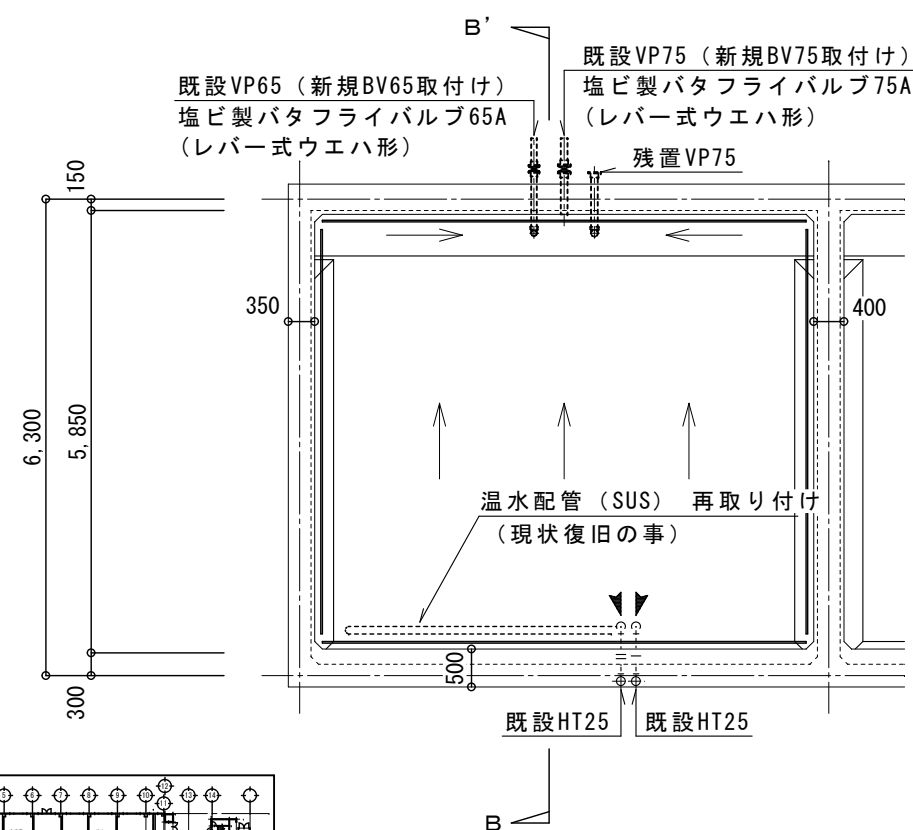
- (注記)
1. 図中 ▲ は、既設管取り外し接続部を表す。
  2. 図中 — は、新設配管を表す。
  3. 図中 - - - は、既設管を表す。
  4. 図中 - x - x - x - x - x は、撤去管を表す。





地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事	設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 M 04
株式会社 中尾建築事務所		図面名称 ガザミ水槽 改修配管図	工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/100・1/30	

現況・撤去図



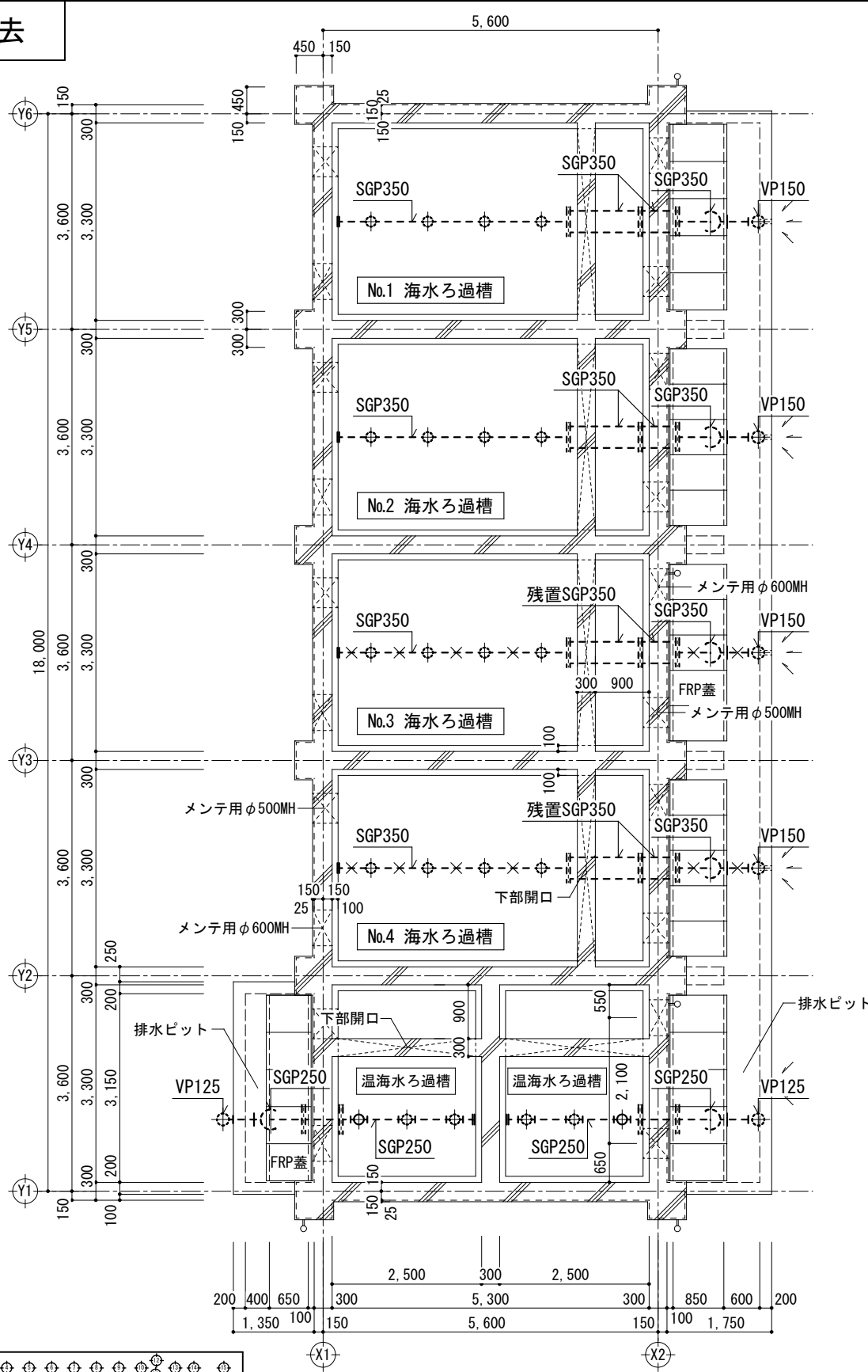
## 改修図



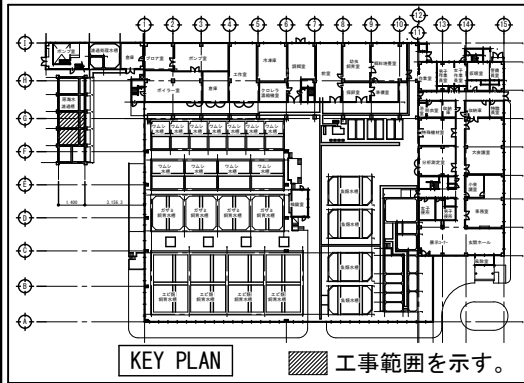
- (注記)
1. 図中  は、既設管取り外し接続部を表す。
  2. 図中  は、新設配管を表す。
  3. 図中  は、既設管を表す。
  4. 図中  は、撤去管を表す。

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 M 05
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ワムシ水槽(大) 現況・撤去・改修配管図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/100・1/30		

現況・撤去



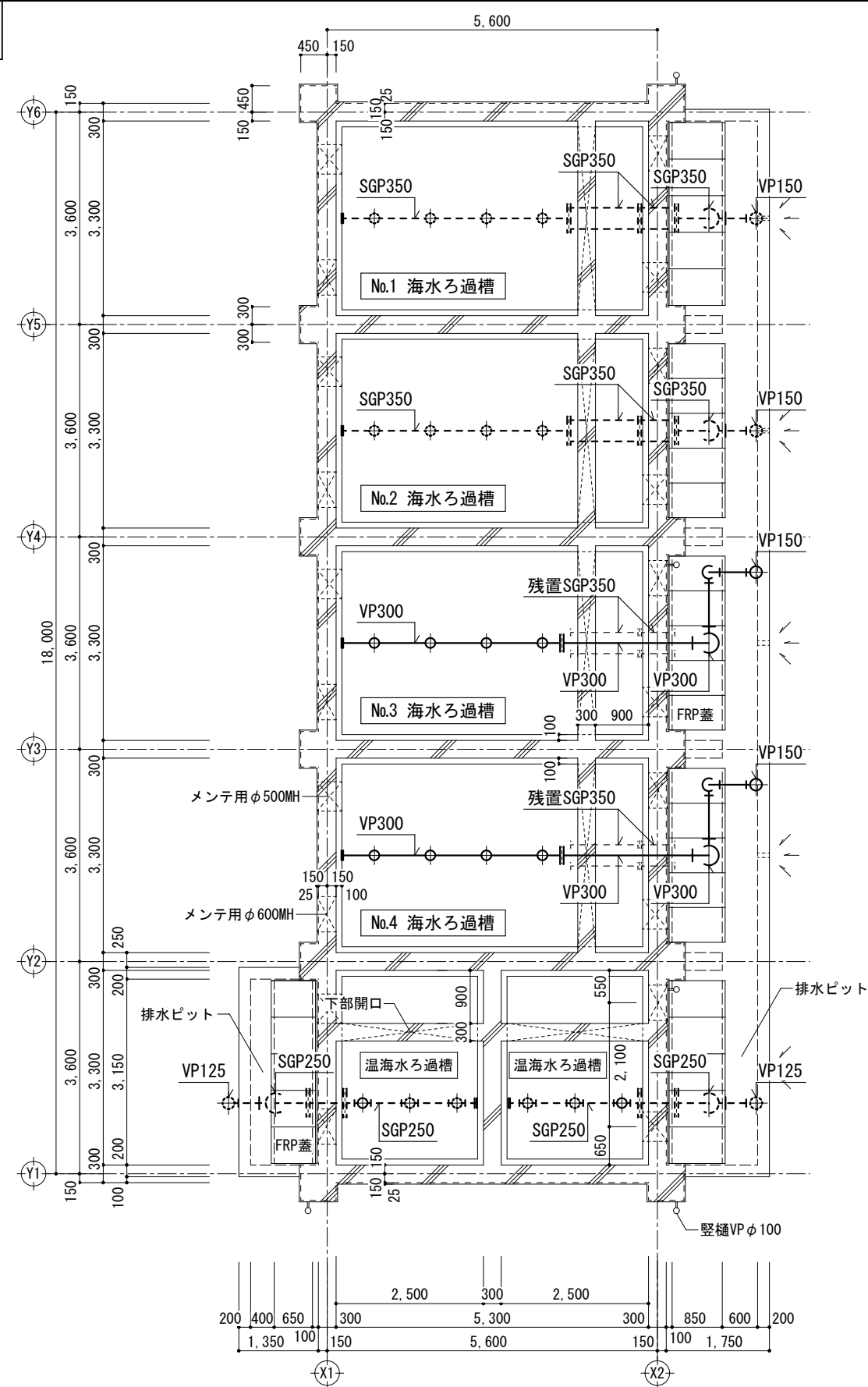
現況 1F平面図



機械設備工事内容  
令和2年度工事  
No.3、No.4：海水ろ過槽の配管改修工事  
令和3年度工事  
No.1、No.2：海水ろ過槽の配管改修工事

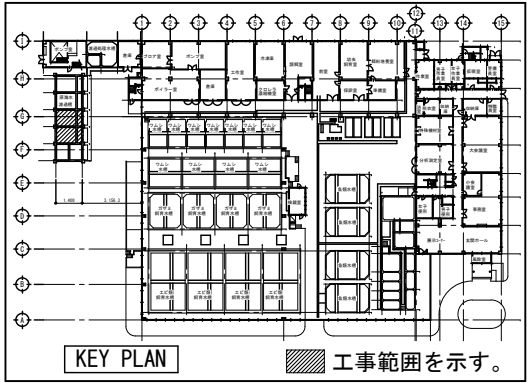
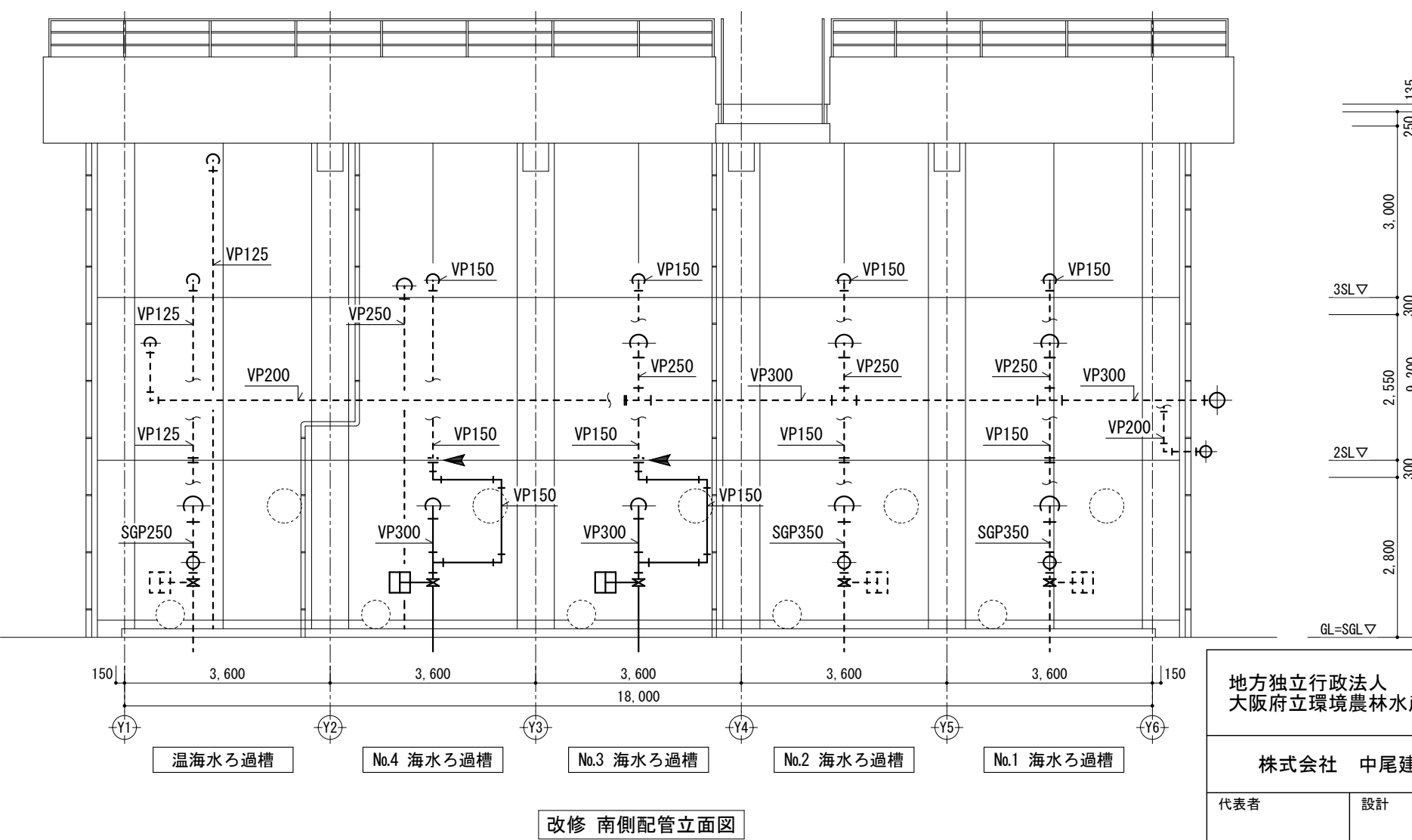
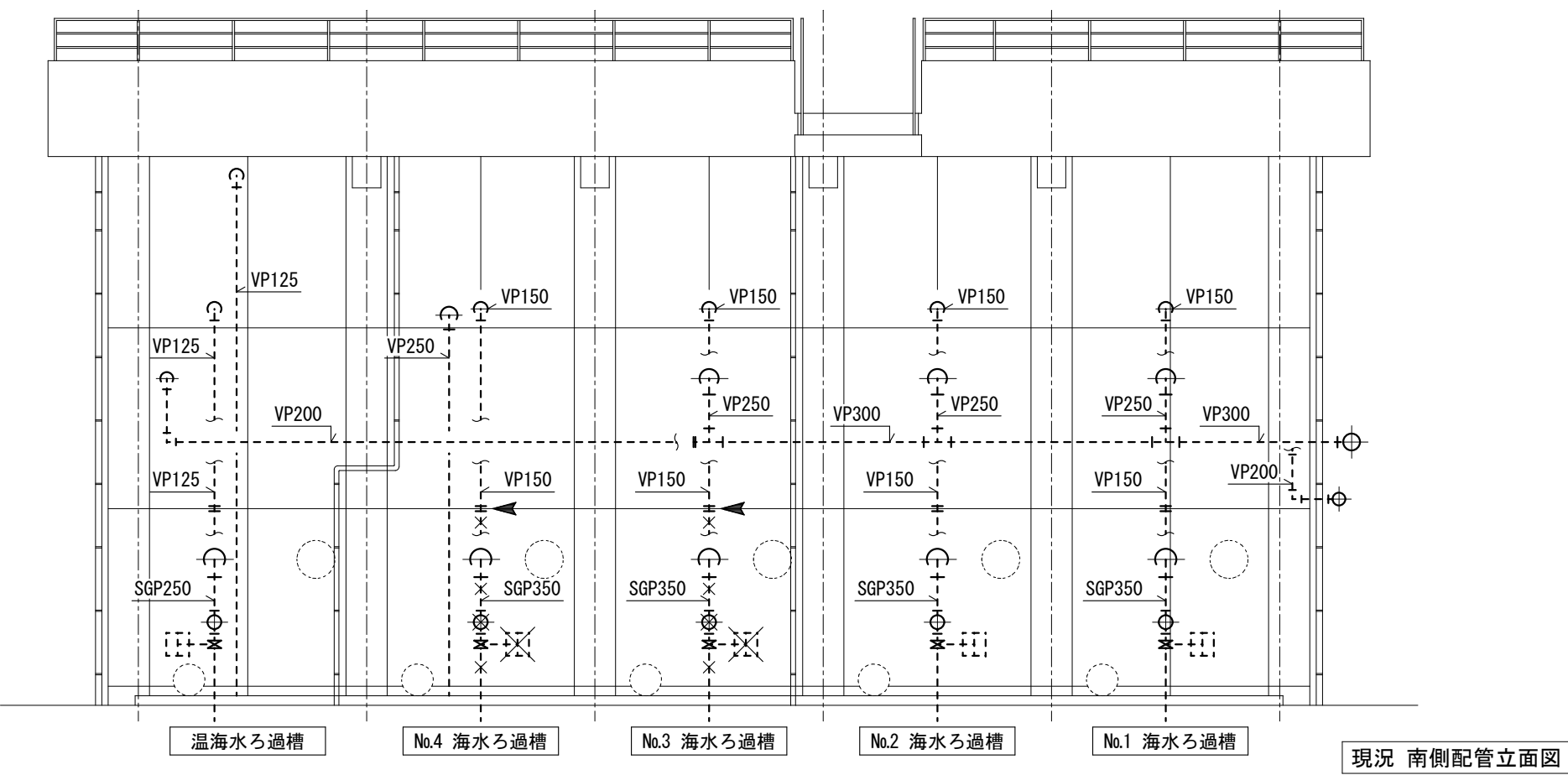
- (注記)
1. 図中 は、管撤去及び既設管接続を表す。
  2. 図中 は、新設配管を表す。
  3. 図中 は、既設管を表す。
  4. 図中 は、撤去管を表す。

配管改修



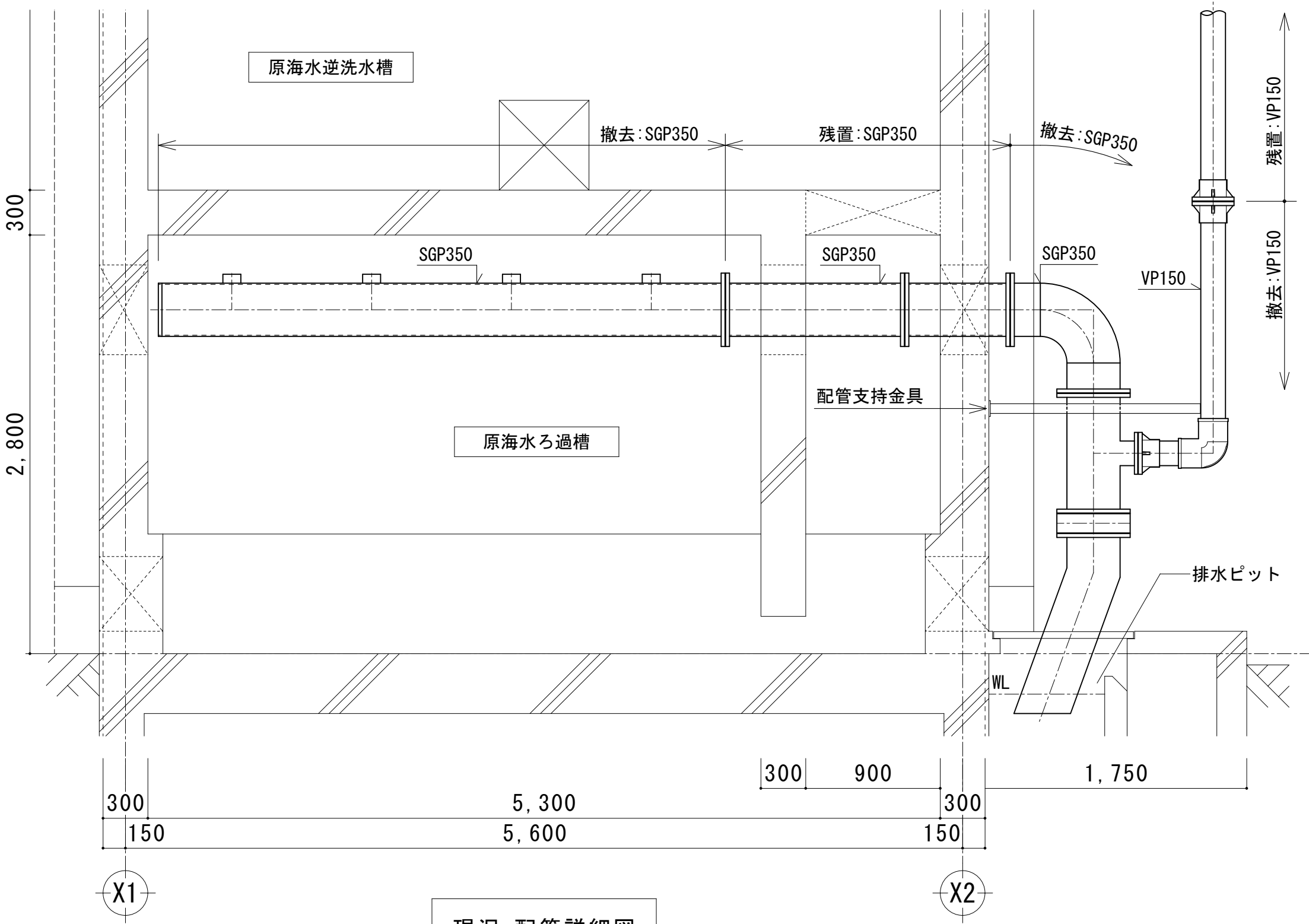
改修 1F平面図

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事	設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 <div>M</div> <div>06</div>
株式会社 中尾建築事務所		図面名称 ろ過棟 現況・撤去、改修配管図 1	工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/100	

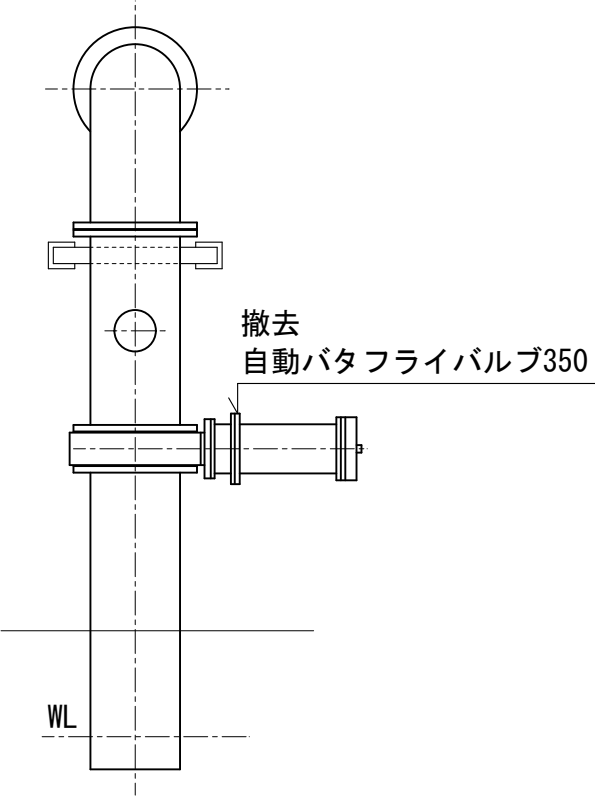


- (注記)
1. 図中 ▲ は、管撤去及び既設管接続を表す。
  2. 図中 — は、新設配管を表す。
  3. 図中 - - - は、既設管を表す。
  4. 図中 -x-x-x-x-x-x- は、撤去管を表す。

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所		工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 M 07
		図面名称 ろ過棟 現況・撤去、改修配管図2		工事番号	
代表者	設計	縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/100		

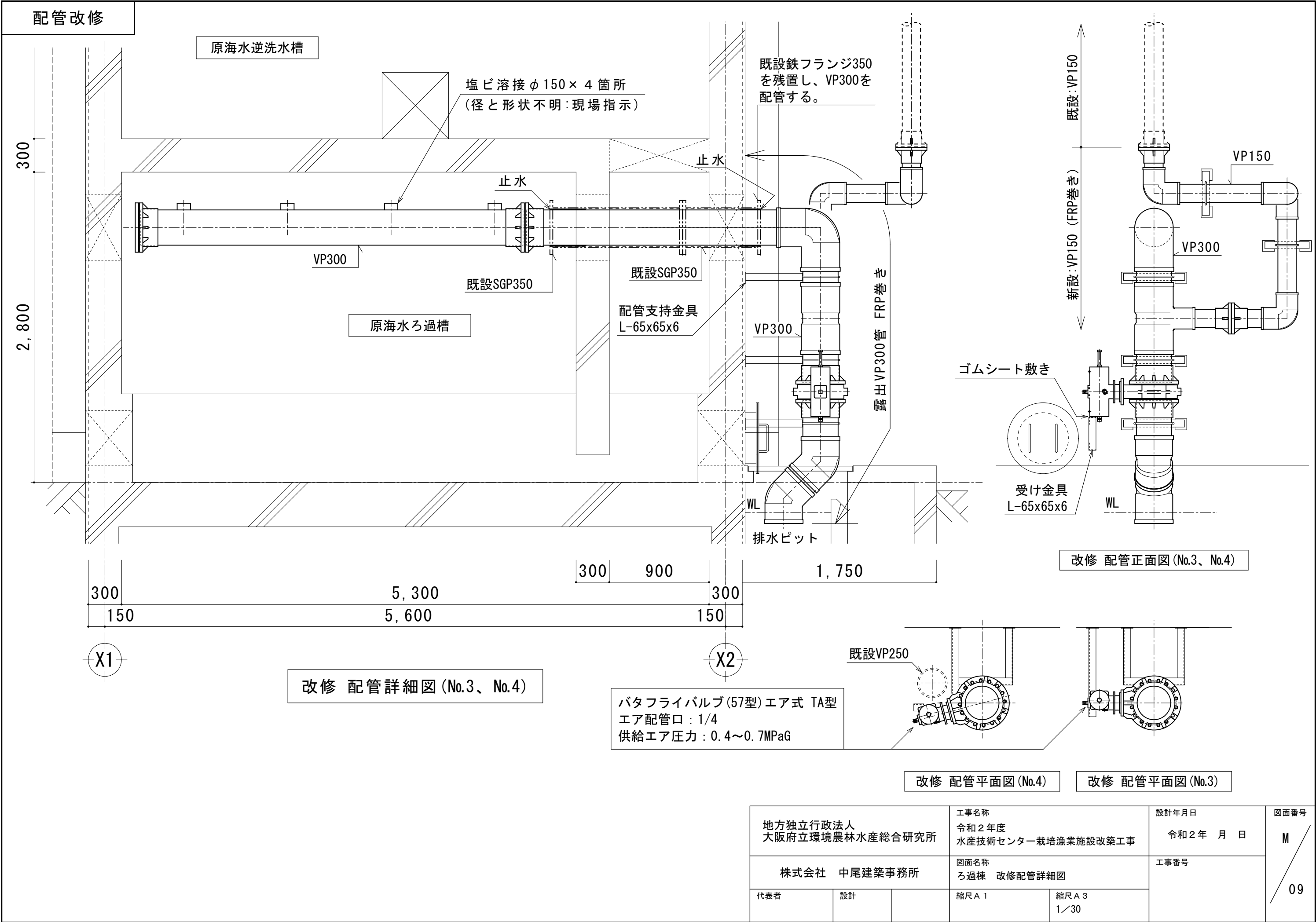


現況 配管正面図



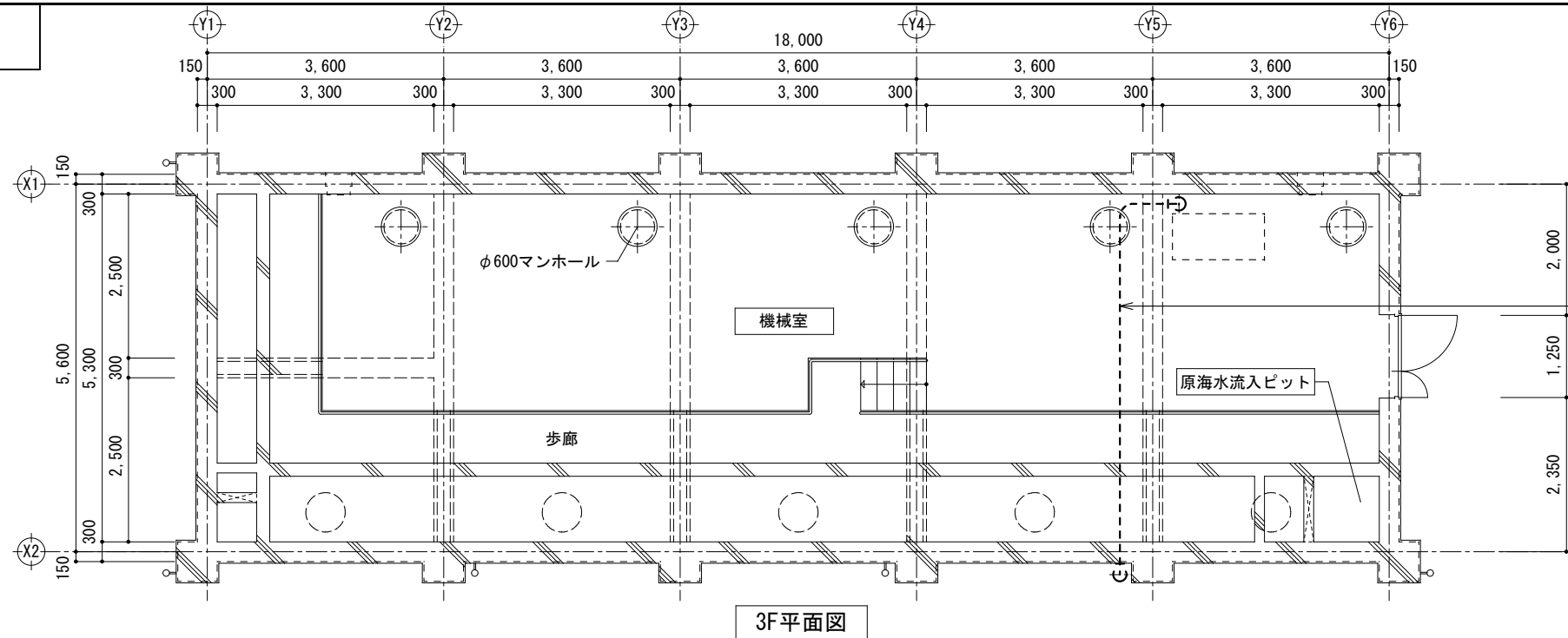
現況 配管詳細図

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日 令和2年 月 日	図面番号 M 08
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ろ過棟 現況・撤去配管詳細図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1/30		

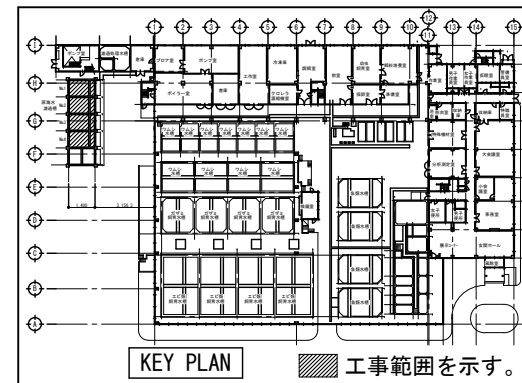
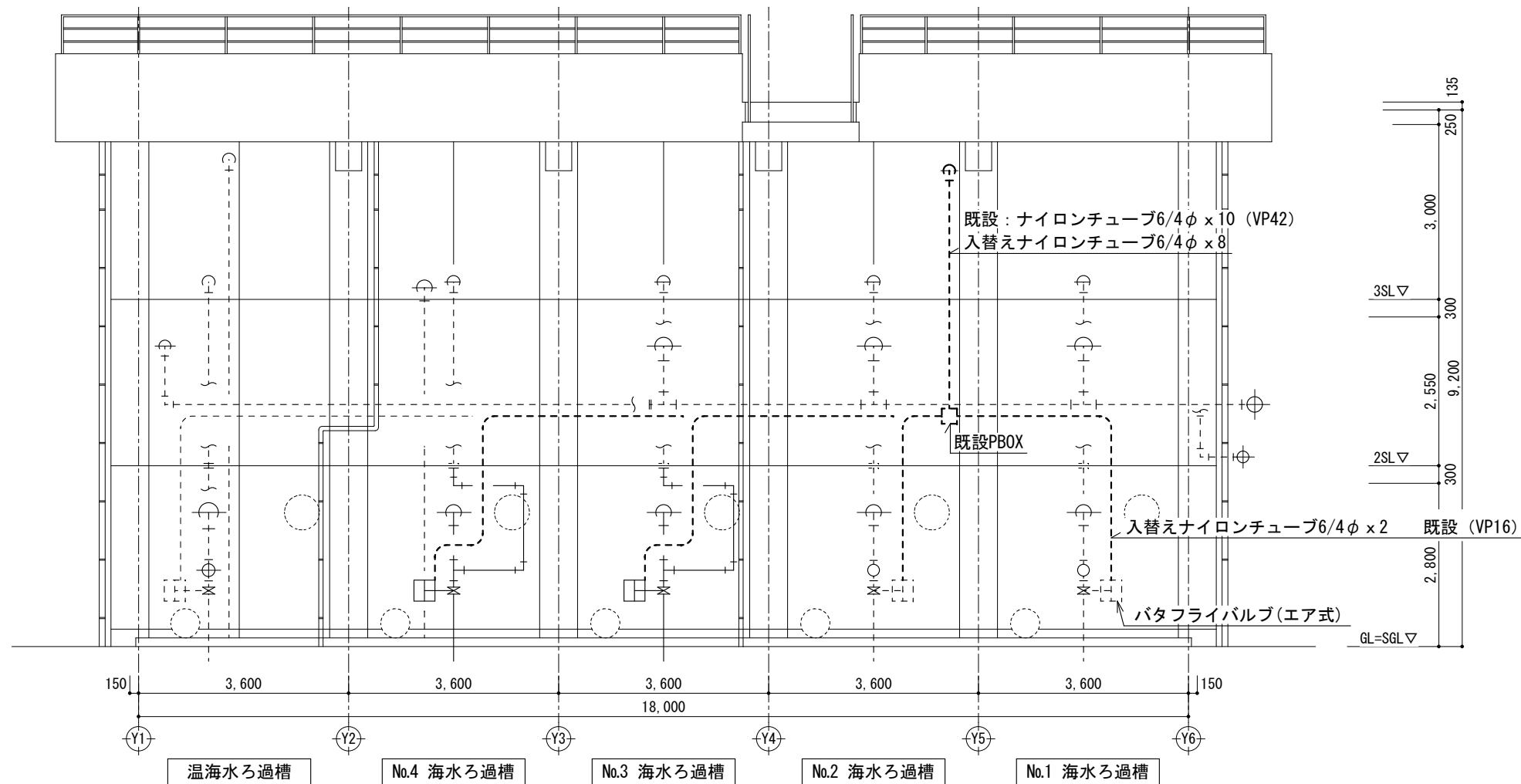




配管改修

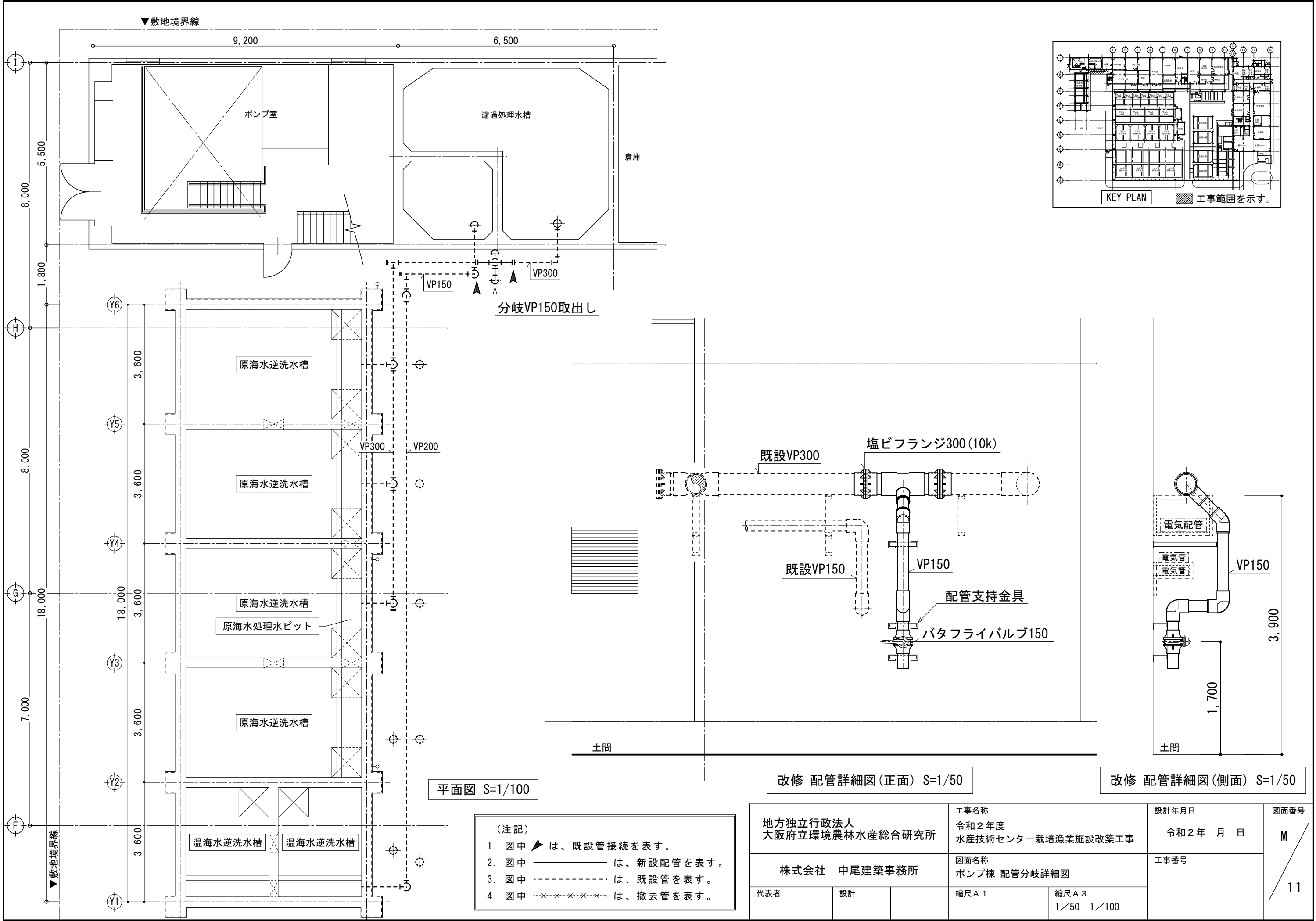


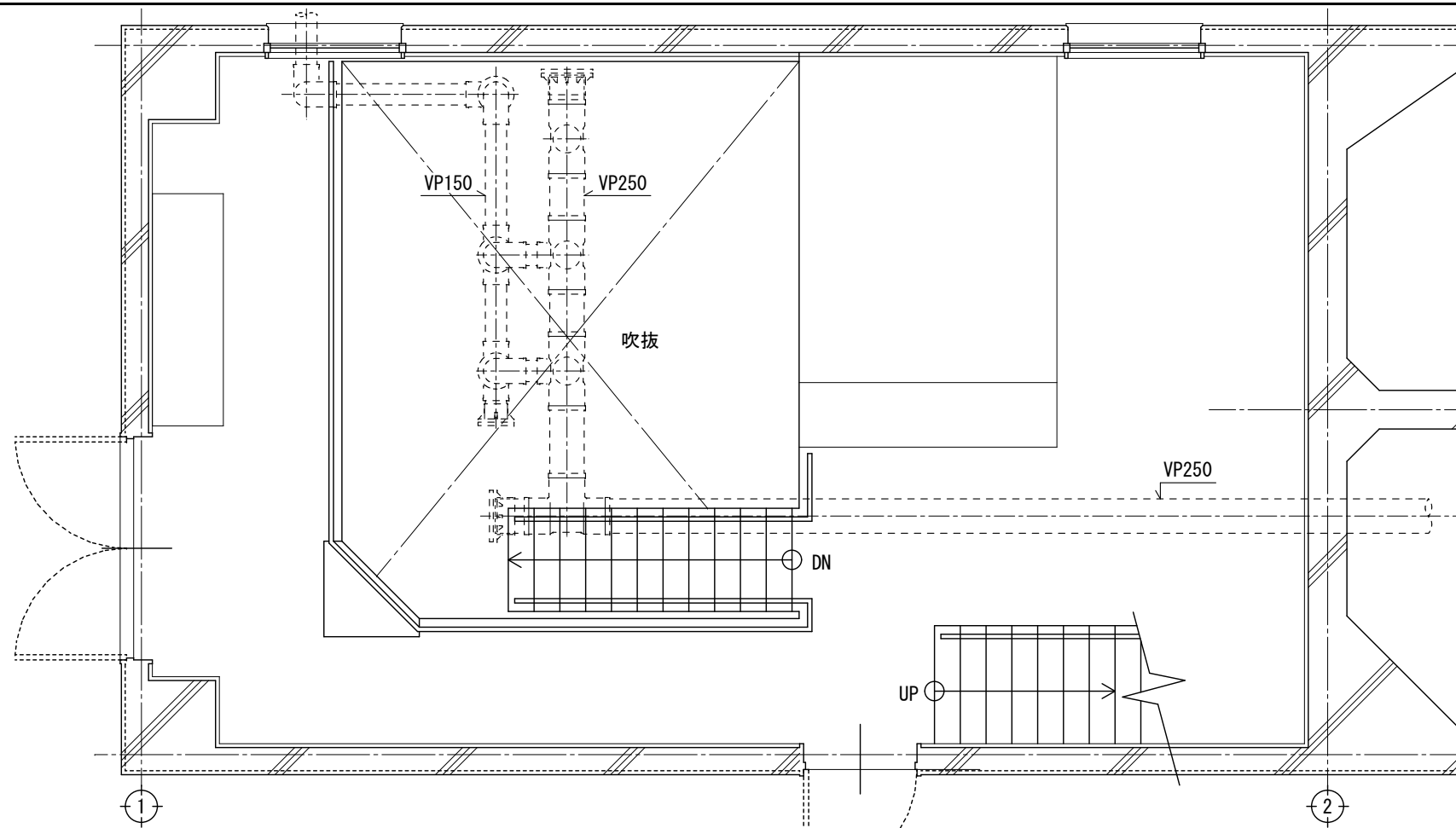
既設：ナイロンチューブ6/4φ×10 (VP42)  
No.1、No.2、No.3、No.4 (令和2年度工事)：8本入替え



改修 南側配管立面図

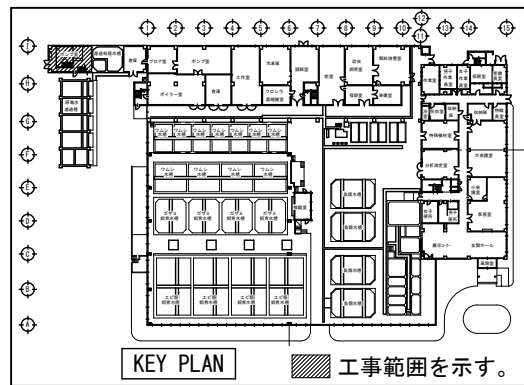
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日  令和2年 月 日	図面番号  M  10
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ろ過棟 エアーチューブ改修図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1／100		



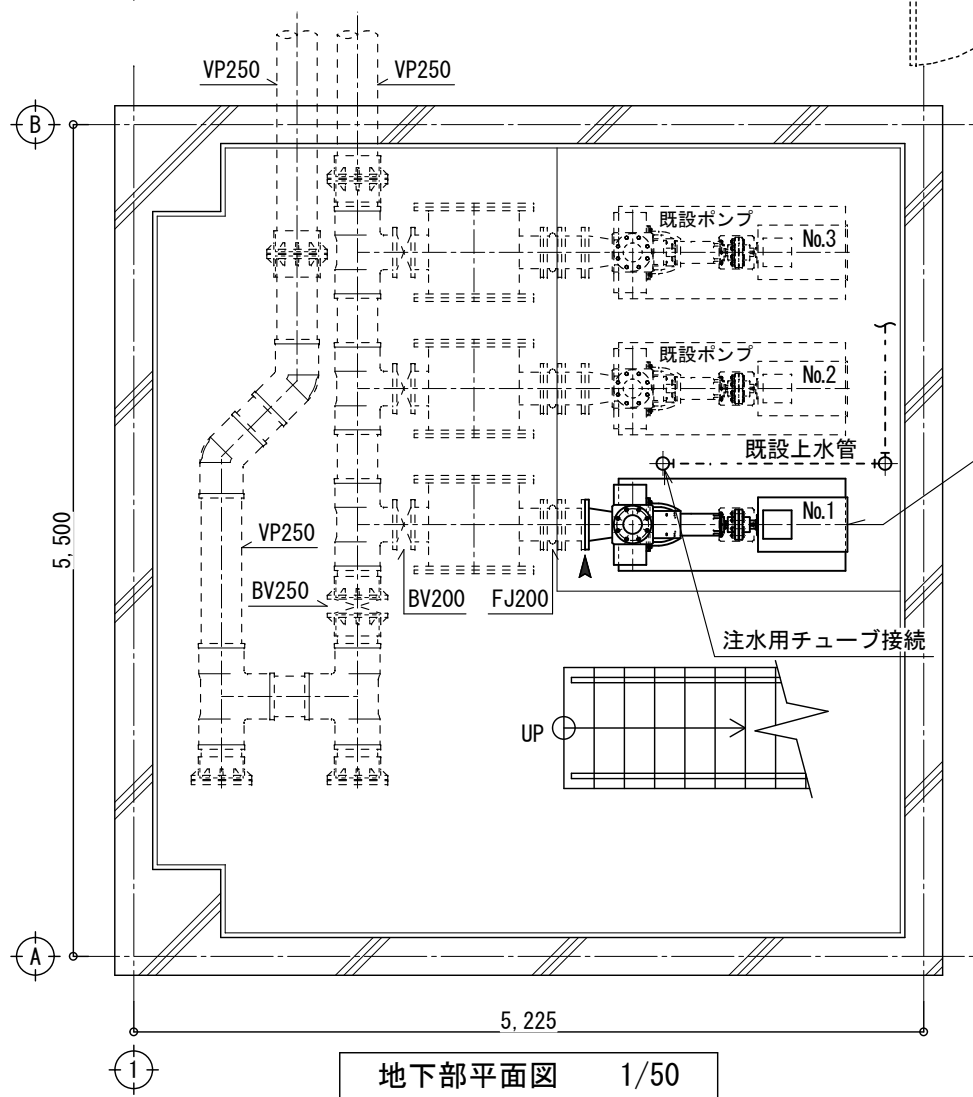


1階平面図 1/50

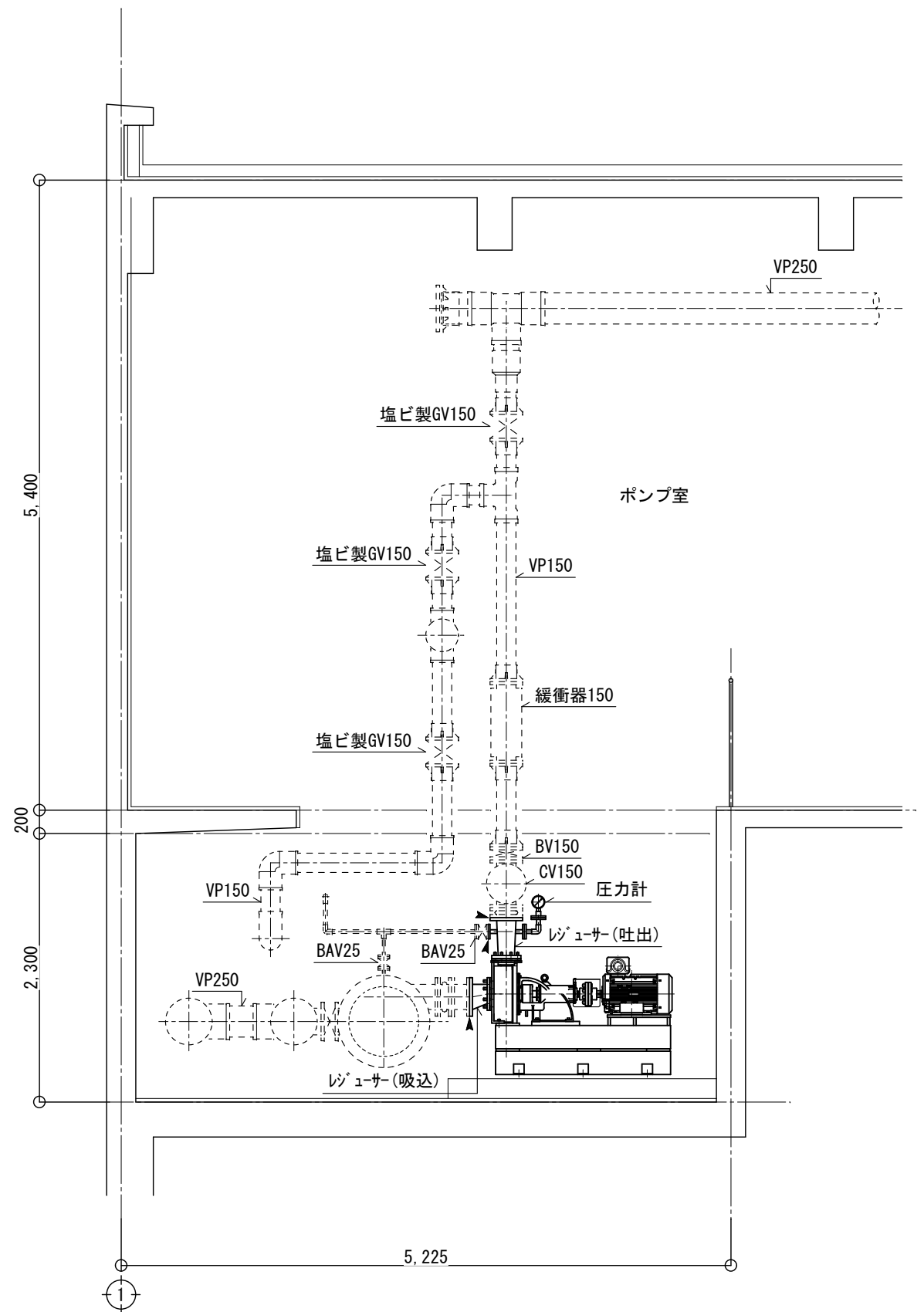
取水ポンプNo.1 入替え：1台（既設ポンプ撤去含む）  
耐蝕ポンプ仕様（本体モーター付）  
吐出量：3,000L/min 揚程：28m 液名：海水  
口径：150mm×125mm 電動機：30kw×4P×200v×3φ  
付属品 空転防止装置（電気工事へ支給）  
レジューサー（吸込・吐出）、圧力計  
形式 TSU-150ZE40UAZ6（同等品）  
ポンプメーカー：セイコー化工機（株）



- （注記）
1. 図中 ▲ は、既設管接続を表す。
  2. 図中 — は、新設配管を表す。
  3. 図中 - - - は、既設管を表す。
  4. 図中 -x-x-x-x-x-x-x-x-x-x- は、撤去管を表す。



地下部平面図 1/50



立面図 1/50

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所			工事名称 令和2年度 水産技術センター栽培漁業施設改築工事		設計年月日  令和2年 月 日	図面番号  M  12
株式会社 中尾建築事務所			図面名称 ポンプ棟 原水取水ポンプ入替え詳細図		工事番号	
代表者	設計		縮尺 A 1	縮尺 A 3 1／50		